



滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

目 次

1120505	英語	A (国際a)	山本 薫	前期	・ ・ ・	1
1120506	英語	B (国際a)	小熊 猛	前期	・ ・ ・	3
1120507	英語	A (国際b)	山本 薫	前期	・ ・ ・	5
1120508	英語	B (国際b)	小熊 猛	前期	・ ・ ・	7
1120515	英語	A (国際a)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	9
1120516	英語	B (国際a)	Walter Klinger	前期	・ ・ ・	11
1120517	英語	A (国際b)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	13
1120518	英語	B (国際b)	Walter Klinger	前期	・ ・ ・	15
1120525	英語	A (国際a)	谷口 真紀	前期	・ ・ ・	17
1120526	英語	B (国際a)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	19
1120527	英語	A (国際b)	谷口 真紀	前期	・ ・ ・	21
1120528	英語	B (国際b)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	23
1120535	英語	A (国際a)	Walter Klinger	後期	・ ・ ・	25
1120536	英語	B (国際a)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	27
1120537	英語	A (国際b)	Walter Klinger	後期	・ ・ ・	29
1120538	英語	B (国際b)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	31
1120541	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	前期	・ ・ ・	33
1120542	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	前期	・ ・ ・	35
1120551	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	後期	・ ・ ・	37
1120552	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	後期	・ ・ ・	39
1120561	フランス語	A (国際)	橋本 周子	前期	・ ・ ・	41
1120562	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	前期	・ ・ ・	43
1120571	フランス語	A (国際)	橋本 周子	後期	・ ・ ・	45
1120572	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	後期	・ ・ ・	47
1120581	中国語	A (国際)	地蔵堂 貞二	前期	・ ・ ・	49
1120582	中国語	B (国際)	呉 凌非	前期	・ ・ ・	51
1120591	中国語	A (国際)	地蔵堂 貞二	後期	・ ・ ・	53
1120592	中国語	B (国際)	呉 凌非	後期	・ ・ ・	55
1120601	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	前期	・ ・ ・	57
1120602	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	前期	・ ・ ・	59
1120611	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	後期	・ ・ ・	61
1120612	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	後期	・ ・ ・	63
1120620	リーディング(中級)	a	谷口 真紀	後期	・ ・ ・	65
1120621	リーディング(中級)	b	谷口 真紀	後期	・ ・ ・	67
1120640	リスニング(中級)	a	小栗 裕子	前期	・ ・ ・	69
1120641	リスニング(中級)	b	小栗 裕子	前期	・ ・ ・	71
1120650	ディベート&ディスカッション	a	Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	73
1120651	ディベート&ディスカッション	b	Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	75
1120653	Introduction to Discussion & Debate	a	Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	77
1120654	Introduction to Discussion & Debate	b	Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	79
1120670	エッセイ・ライティング		John Rippey	後期	・ ・ ・	81
1120675	Essay Writing		John Rippey	後期	・ ・ ・	83
1120685	留学英語対策基礎講座		John Rippey	前期集中	・ ・ ・	85
1120686	Intermediate Academic English		John Rippey	前期集中	・ ・ ・	87
1120690	留学英語対策講座		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	89
1120695	Advanced Academic English I		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	91
1120700	留学英語対策講座		John Rippey	後期	・ ・ ・	93
1120705	Advanced Academic English II		John Rippey	後期	・ ・ ・	95
1120715	English for Business		Fuisting Bjorn	前期集中	・ ・ ・	97
1120720	メディアの英語		Walter Klinger	後期	・ ・ ・	99
1120725	English in Media		Walter Klinger	後期	・ ・ ・	101
1150391	人間探求学(国際コミュニケーション)			学科教員 前期	・ ・ ・	103
1201180	経済学(国際経済を含む)		村上 一真	前期	・ ・ ・	105
1203110	法学概論(国際法を含む)		坂田 雅夫	前期	・ ・ ・	107
1400011	アカデミック・ライティング		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	109
1400012	アカデミック・リスニング		Walter Klinger	前期	・ ・ ・	111
1400013	Discussion & Debate		Walter Klinger	前期	・ ・ ・	113
1400014	Academic Writing		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	115
1400057	アジア文化特論A		地蔵堂 貞二	後期	・ ・ ・	117
1400058	アジア文化特論B		河 かおる	前期	・ ・ ・	119
1400059	アジア文化特論C		Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	121
1400061	アジア文化論A		地蔵堂 貞二	前期	・ ・ ・	123
1400062	アジア文化論B		河 かおる	後期	・ ・ ・	125
1400063	アジア文化論C		島村 一平	前期	・ ・ ・	127
1400064	アジア文化論D		棚瀬 慈郎	後期	・ ・ ・	129
1400071	異文化交流史		Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	131
1400072	移民社会論A		窪田 暁	後期	・ ・ ・	133
1400074	移民社会論C		Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	135
1400081	イングリッシュレクチャーA		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	137
1400082	イングリッシュレクチャーB		Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	139
1400083	イングリッシュレクチャーC		小熊 猛	前期	・ ・ ・	141
1400084	イングリッシュレクチャーD		谷口 真紀	前期	・ ・ ・	143
1400085	イングリッシュレクチャーE		Balachandran Jeyadevan	前期	・ ・ ・	145
1400091	English Lecture A		Martin Hawkes	後期	・ ・ ・	147
1400092	English Lecture B		Martin Hawkes	前期	・ ・ ・	149

1400093	English Lecture C	谷口 真紀 前期	151
1400094	English Lecture D	小熊 猛 前期	153
1400095	English Lecture E	John Rippey 前期	155
1400096	English Lecture F	谷口 真紀 後期	157
1400097	English Lecture G	Balachandran Jeyadevan 前期	159
1400101	英語音声学	小熊 猛 前期	161
1400102	英語学概論	小熊 猛 後期	163
1400103	英語文献講読 A	棚瀬 慈郎 前期	165
1400104	英語文献講読 B	棚瀬 慈郎 後期	167
1400107	英米文学概論	山本 薫 前期	169
1400108	英米文学講読	山本 薫 後期	171
1400221	欧米文化特論 A	吉村 淳一 後期	173
1400222	欧米文化特論 B	橋本 周子 後期	175
1400223	欧米文化特論 C	山本 薫 後期	177
1400224	欧米文化特論 D	John Rippey 後期	179
1400225	欧米文化論 A	吉村 淳一 前期	181
1400226	欧米文化論 B	橋本 周子 後期	183
1400227	欧米文化論 C	山本 薫 後期	185
1400228	欧米文化論 D	谷口 真紀 前期	187
1400261	海外留学 学科教員 通年		189
1400361	環琵琶湖文化論実習 (国際) 学科教員 通年		191
1400421	基礎演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 前期		193
1400422	基礎演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 後期		195
1400611	研究演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 前期		197
1400612	研究演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 後期		199
1400632	言語接触論	呉 凌非 前期	201
1400633	現代英文法	小熊 猛 前期	203
1400634	英語学基礎	小熊 猛 前期	205
1400635	日本語教育基礎	富川 和代 後期	207
1400680	現代社会論 (人間文化)	丸山 真央 後期	209
1400861	国際関係論	菅瀬 晶子 後期	211
1400965	英語E-learning A	Martin Hawkes 後期集中	213
1400966	英語E-learning B	John Rippey 前期集中	215
1400967	英語E-learning C	小熊 猛 後期集中	217
1400971	実践英語演習 A	小熊 猛 後期集中	219
1400972	実践英語演習 B	小栗 裕子 前期集中	221
1400975	実践英語演習 E	Martin Hawkes 後期集中	223
1400976	実践英語演習 F	John Rippey 前期集中	225
1400977	実践英語演習 G	小熊 猛 後期集中	227
1400979	実践英語対策講座	John Rippey 前期	229
1400981	Introduction to Academic English	John Rippey 前期	231
1400985	Debating Global Issues	Martin Hawkes 前期集中	233
1401759	西洋史	村上 司樹 後期	235
1401821	卒業研究論文 (国際コミュニケーション) 学科教員		237
1401862	多民族社会論 B	Borjigin Burensain 後期	239
1401863	多民族社会論 C	河 かおる 前期	241
1401865	多文化社会論 A	河 かおる 前期	243
1401866	多文化社会論 B	Borjigin Burensain 後期	245
1402061	チベット語基礎	棚瀬 慈郎 前期	247
1402062	チベット語基礎	棚瀬 慈郎 後期	249
1402081	中国語コミュニケーション A	地蔵堂 貞二 後期	251
1402082	中国語コミュニケーション B	呉 凌非 後期	253
1402083	中国語コミュニケーション A	地蔵堂 貞二 前期	255
1402084	中国語コミュニケーション B	呉 凌非 前期	257
1402086	中国語コミュニケーション D	呉 凌非 前期	259
1402087	中国語留学対策	呉 凌非 前期	261
1402151	朝鮮語コミュニケーション A	未定 * 後期	263
1402152	朝鮮語コミュニケーション B	松井 聖一郎 後期	265
1402153	朝鮮語コミュニケーション A	河 かおる 前期	267
1402154	朝鮮語コミュニケーション B	松井 聖一郎 前期	269
1402155	朝鮮語コミュニケーション C	河 かおる 前期	271
1402156	朝鮮語コミュニケーション D	崔 眞善 前期	273
1402157	朝鮮語留学対策	崔 眞善 前期	275
1402203	通訳ガイド講座	石井 隆之 前期	277
1402281	ドイツ語コミュニケーション A	吉村 淳一 後期	279
1402282	ドイツ語コミュニケーション B	Anja Sliwa 後期	281
1402283	ドイツ語コミュニケーション A	吉村 淳一 前期	283
1402284	ドイツ語コミュニケーション B	Anja Sliwa 前期	285
1402286	ドイツ語コミュニケーション D	Anja Sliwa 前期	287
1402287	ドイツ語留学対策	Anja Sliwa 前期	289
1402621	発展演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 前期		291
1402622	発展演習 (国際コミュニケーション) 学科教員 後期		293
1402623	パブリック・スピーチ	John Rippey 前期	295
1402624	Public Speaking	John Rippey 前期	297
1402901	フランス語コミュニケーション A	橋本 周子 後期	299
1402902	フランス語コミュニケーション B	Gilles Fernandez 後期	301
1402903	フランス語コミュニケーション A	橋本 周子 前期	303
1402904	フランス語コミュニケーション B	Gilles Fernandez 前期	305
1402906	フランス語コミュニケーション D	Gilles Fernandez 前期	307
1402907	フランス語留学対策	Gilles Fernandez 前期	309

1402960	文化人類学概論A	島村 一平	前期	・ ・ ・	311
1402970	文化人類学概論B	棚瀬 慈郎	後期	・ ・ ・	313
1402980	文化人類学特論	棚瀬 慈郎	前期	・ ・ ・	315
1402991	ポストコロナ論	栢木 清吾	後期	・ ・ ・	317
1402992	翻訳文化論	呉 凌非	後期	・ ・ ・	319
1403036	モンゴル語	A 島村 一平	前期	・ ・ ・	321
1403037	モンゴル語	B 島村 一平	前期	・ ・ ・	323
1403038	モンゴル語	A 内田 孝	後期	・ ・ ・	325
1403039	モンゴル語	B 島村 一平	後期	・ ・ ・	327
1403051	モンゴル語コミュニケーション	A 内田 孝	後期	・ ・ ・	329
1403052	モンゴル語コミュニケーション	B Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	331
1403053	モンゴル語コミュニケーション	A Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	333
1403054	モンゴル語コミュニケーション	B 内田 孝	前期	・ ・ ・	335
1403061	モンゴル語史料講読	A Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	337
1403062	モンゴル語史料講読	B Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	339
1403063	モンゴル語史料講読	Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	341
1403064	モンゴル語史料講読	Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	343

講義名	英語 A (国際a)				担当教員	山本 薫	
講義コード	1120505	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(山本担当)本授業では、英国BBCニュースを聞くことを通して語彙を増やし、正確な発音を身につけ、リスニング力を強化することを目指す。授業では日本語の逐語訳をつけずに英語本文の音読を繰り返して行い、英語の発音・表現・構造を自分のものにする。英文の内容把握は、リスニング空欄補充、テキストに付された設問を通して行う。

(小熊担当)本授業では、毎回リスニングによる内容理解およびディクテーション練習を行いリスニング能力の向上を図る。内容理解に欠かせない語彙および表現の予習・復習を課し、それらの定着を随時行う小テストで確認する。なお、環琵琶湖文化論実習の英語プレゼンを視野に、プレゼンテーションに有効な語彙、表現を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	最後の授業において30分ほどのミニ実力試験(リスニング)を行う。
レポート課題	30	各Unitのリスニング及びクイズの予習をルーズリーフに書き出したものを授業の冒頭で提出すること(合計15回分)。
上記以外	50	授業では、リスニングの空欄に入る単語とクイズの答えを発表させるが、正解率だけでなく、発音の正確さ(どれだけ音読練習しているか)を厳しくみる。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。予習ができていない場合は出席点を失う。

授業外学習

予習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seeing the World through the News 3 映像で学ぶイギリス公共放送の英語3	Timothy Knowles / Daniel Brooks / 武岡由樹子 / 田村真弓	金星堂	978-4-7647-4015-0
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1120506	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。本授業では、毎回リスニングによる内容理解およびディクテーション練習を行いリスニング能力の向上を図る。内容理解に欠かせない語彙および表現の予習・復習を課し、それらの定着を随時行う小テストで確認する。なお、環琵琶湖文化論実習の英語プレゼンを視野に、プレゼンテーションに有効な語彙、表現を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)-(3)の観点について、以下の基準に従い50点満点評価する。 (1)10%, (2)20%, (3)20%
レポート課題		
上記以外	50	到達目標(1)-(3)の観点については、学期中に3回を予定している確認聞き取り小テスト(各10点満点)によって評価する:30%

定期試験と以外の評価を総合した総合評価が60点以上を合格とする。
4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がない限り遅刻は受講を認めるが欠席日数としてカウントするものとする。

授業外学習

リスニング活動を重視した授業であるため、文法構造等に関する説明には必要以上に時間を割くことが難しい。各自でしっかりと予習し、文構造など理解できない部分などを特定し、授業中に質問するなどして問題解決を図ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	リスニング・スキルアップ:日本の世界遺産を巡る	吉田国子他	三修社	978-384-33443-2 C1028
2				
3				

初回の授業より教科書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本授業は国際コミュニケーション学科学生のみを対象とした科目である。

履修資格

講義名	英語 B (国際a)					担当教員	小熊 猛
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション, 英語の音(1)	・シラバス説明, 授業の進め方 ・英語の基本母音の発音
第2回	Introduction	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第3回	Unit 1 Shiretoko	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第4回	Unit 2 Shrines and Temples of Nikko	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第5回	Unit 3 Ogasawara Islands	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第6回	Unit 4 Shirakawa-go and Gokayama	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第7回	Unit 5 Monuments of Ancient Kyoto	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第8回	Unit 6 Monuments of Ancient Nara	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第9回	Unit 7 Sacred Sites and Pilgrims Routes	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第10回	Unit 8 Himeji Castle	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第11回	Unit 9 Hiroshima Genbaku Dome	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第12回	Unit 10 Itsukushima Shrine	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第13回	Unit 11 Yakushima	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第14回	Unit 12 Gusuku Sites and Related Properties	Warm-Up Conversation 1・2 (Comprehension / Dictation Activity)
第15回	まとめ	総括

担当者から一言

基本的な語彙レベルでの正しい発音および適切なアクセント配置等は、リスニング能力向上の基盤となる。テキストと付属CDを利用して音読練習を繰り返し実施することが望ましい。

講義名	英語 A (国際b)				担当教員	山本 薫	
講義コード	1120507	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(山本担当)本授業では、英国BBCニュースを聞いて語彙を増やし、正確な発音を身につけ、リスニング力を強化することを目指す。授業では日本語の逐語訳をつけずに英語本文の音読を徹底的に繰り返し行い、英語の発音・表現・構造を自分のものにする。英文の内容把握は、リスニング空欄補充、テキストに付された設問を通して行う。

(小熊担当)本授業では、毎回リスニングによる内容理解およびディクテーション練習を行いリスニング能力の向上を図る。内容理解に欠かせない語彙および表現の予習・復習を課し、それらの定着を随時行う小テストで確認する。なお、環琵琶湖文化論実習の英語プレゼンを視野に、プレゼンテーションに有効な語彙、表現を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	最後の授業において30分ほどのミニ実力試験(リスニング)を行う。
レポート課題	30	各Unitのリスニング及びクイズの答え(予習)をルーズリーフに書き出したものを授業の冒頭で提出すること(合計15回分)。
上記以外	50	授業では、リスニングの空欄に入る単語とクイズの答えを発表させるが、正解率だけでなく、発音の正確さ(どれだけ音読練習しているか)を厳しくみる。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。予習ができていない場合は出席点を失う。

授業外学習

予習としては、

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seeing the World through the News 3 映像で学ぶイギリス公共放送の英語3	Timothy Knowles / Daniel Brooks / 武岡由樹子 / 田村真弓	金星堂	978-4-7647-4015-0
2				
3				

初回授業時はunit 1を用いて導入を行うので教科書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A(国際b)				担当教員	山本 薫	
講義コード	1120507	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画						
------	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Poppies at the Tower of London	初回は、オリエンテーションとして、これからどのように授業をすすめていくかをテキストのunit 1 「ロンドン塔を埋め尽くす戦没者の魂」を用いて説明する。
第2回	unit 15 Child Soldiers of South Sudan	「子ども兵士たち、ようやく自由の身に！」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第3回	unit 14 Body Clocks	「体内時計とスポーツの関係」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第4回	unit 13 The Price of the Monarchy	「王室の維持費は高い? 安い?」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第5回	unit 12 Online Courts	「オンライン裁判が司法を変える」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第6回	unit 11 Scotland's Future	「スコットランドの自治権拡大に向けて」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第7回	unit 10 A Home for Newspapers	「過去の新聞をハイテク技術で保存管理」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第8回	unit 9 Teaching Digital Skills	「政府、若いデジタル世代を育成へ」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第9回	unit 8 Young Voters	「若者よ、投票するために登録しよう！」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第10回	unit 7 Paternity Leave	「イクメン応援政策、実現するか?」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第11回	unit 6 Houses Built from Straw	「レンガよりも強いわらの家?」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第12回	unit 5 A Chip under the Skin	「個人情報すべて手の中に」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第13回	unit4 Who Owns Banksy's Street Art?	「壁の絵は誰のもの?」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第14回	unit3 Shakespeare in London's East End	「画期的なシェイクスピア劇が話題に」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説
第15回	unit 2 Cosplay in London、実力テスト	「子ども兵士たち、ようやく自由の身に！」リスニング空欄補充、コンプリヘンション・クイズ解説

担当者から一言						
---------	--	--	--	--	--	--

各Unitのリスニング及びクイズの答え(予習)をルーズリーフに書き出したものを授業の冒頭で提出すること。病气その他の証明書が出せるような特別な場合を除いて、予習せずに授業に出ることはできない。予習せずに授業に出ても出席点は与えられない。

講義名	英語 B (国際b)				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1120508	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。本授業では、毎回リスニングによる内容理解およびディクテーション練習を行いリスニング能力の向上を図る。内容理解に欠かせない語彙および表現の予習・復習を課し、それらの定着を随時行う小テストで確認する。なお、環琵琶湖文化論実習の英語プレゼンを視野に、プレゼンテーションに有効な語彙、表現を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、完全ではないもののある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解できを正しく用いることができる。
- (4) 正確に音読できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)-(3)の観点について、以下の基準に従い50点満点評価する。 (1)10%, (2)20%, (3)20%
レポート課題		
上記以外	50	到達目標(1)-(3)の観点については、学期中に3回を予定している確認聞き取り小テスト(各10点満点)によって評価する: 30%

定期試験と以外の評価を総合した総合評価が60点以上を合格とする。
4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がない限り遅刻は受講を認めるが欠席日数としてカウントするものとする。

授業外学習

リスニング活動を重視した授業であるため、文法構造等に関する説明には必要以上に時間を割くことが難しい。各自でしっかりと予習し、文構造など理解できない部分などを特定し、授業中に質問するなどして問題解決を図ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	リスニング・スキルアップ: 日本の世界遺産を巡る	吉田国子他	三修社	978-384-33443-2 C1028
2				
3				

初回の授業より教科書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本授業は国際コミュニケーション学科学生のみを対象とした科目である。

履修資格

講義名	英語 A (国際a)				担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1120515	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A(国際a)				担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1120515	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Explanation of the course,	Course introduction, useful English and self introductions.
第2回	Getting to Know You	Making friends and exchanging (or not exchanging) personal information.
第3回	Getting to Know You	Learning to learn 1, going beyond first introductions, Quiz 1.
第4回	Family & Friends	Quiz 2, Talking about your family, memory game 1, song 1.
第5回	Family & Friends	Talking about your friends and learning to learn 2.
第6回	Around Town	Quiz 3, Describing your hometown and game 2.
第7回	Around Town	Getting to know Shiga, song 2.
第8回	School & Free Time	Quiz 4, School life, part-time jobs and schedules
第9回	Mid-Term Test	Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking and another grade for writing.
第10回	School & Free Time	Free time and hobbies. Comparing Japanese / American college life.
第11回	What's Going On?	Quiz 5, Talking on the phone, leaving messages.
第12回	What's Going On?	Making invitations and suggestions, song 3.
第13回	Numbers & Money	Quiz 6, Numbers and money.
第14回	Numbers & Money	Do the math!
第15回	Review, Review, Review	Review.
第16回	Final Exam	

担当者から一言

講義名	英語 B (国際a)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120516	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	50% Interview with Teacher. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students meet with the teacher individually to present a report on a topic of their own choosing, followed by a discussion with the teacher.
レポート課題		
上記以外	50	50% Skit Performance. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students in pairs or small groups will perform one of the scripts studied earlier in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework (1 hour/week):
Practice your skit (4 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)				担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1120517	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120518	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	50% Interview with Teacher. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students meet with the teacher individually to present a report on a topic of their own choosing, followed by a discussion with the teacher.
レポート課題		
上記以外	50	50% Skit Performance. (Objectives 1,2,3,4 each 25%). Students in pairs or small groups will perform one of the scripts studied earlier in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework (1 hour/week):
Practice your skit (4 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120525	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

到達目標

解釈力：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。
 聴解力：五文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
 伝達力：国際問題について自分の考えを三分間以上英語で発表できる。
 記述力：一段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 教養力：ひとつの国際的な課題に関して知識を広げ一分間以上日本語で説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 聴解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 グループ発表(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120526	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

この授業では、New York Timesの記事を題材にした文章の読解を通じて、国際的に話題になっている事柄に関する知識を深めることを目標とする。また、主体的に英語を使ってディスカッションを行う姿勢を育むため、各自で興味深い新聞記事などを見つけて、それをグループ(ペア)で紹介・発表することも合わせて行う。十分に予習を行って授業に臨んでもらいたい。

到達目標

- (1) 長い文章の要点を短時間で把握し、理解する読解力
- (2) 語彙の増強
- (3) 海外から見た日本のイメージや欧米文化への理解
- (4) グループ発表による英語でのディスカッション能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	詳細は下記に添付するルーブリックを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト(20%) 単語テスト(10%) グループ発表(20%)

欠席が4回を超えた場合は、評価の対象としない。冒頭で単語テストを行うので、遅刻した場合は必然的に単語テストの平均スコアが下がります。

授業外学習

グループ発表では各々授業外で集まってしっかりと準備を行うこと。発表内容は事前に連絡してください(詳細は初回時に指示します)。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ニューヨーク・タイムズで高める英語と国際教養	小塚良孝、渡辺秀樹	成美堂	978-4-7919-3392-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120527	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

この科目の目的は英語能力と国際教養の両方の習得です。英語能力については読む・聴く・話す・書くの四技能をバランスよく磨きます。国際教養についてはグローバルな問題をめぐる知識を養います。英語力と教養力の一挙両得をはかり、国際社会で活躍できるコミュニケーション力を高めることを目指しています。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

到達目標

解釈力：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。
 聴解力：五文以上の英文を聴いて書き取ることができる。
 伝達力：国際問題について自分の考えを三分間以上英語で発表できる。
 記述力：一段落以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 教養力：ひとつの国際的な課題に関して知識を広げ一分間以上日本語で説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 聴解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 グループ発表(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Global Issues Towards Peace	Keiso Tatsukawa, Walter Davies, Kenji Tagashira, Goro	南雲堂	978-4-523-17741-8 C0082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A(国際b)					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120527	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Education and Gender 前編	テキスト13-15頁 小テスト
第3回	Education and Gender 後編	テキスト16-18頁 小テスト
第4回	Drinking Water 前編	テキスト25-27頁 小テスト
第5回	Drinking Water 後編	テキスト28-30頁 小テスト
第6回	Terrorism 前編	テキスト43-45頁 小テスト
第7回	Terrorism 後編	テキスト46-48頁 小テスト
第8回	ワークショップ	傾聴の体験
第9回	Genocide and Crimes against Humanity 前編	テキスト63-65頁 小テスト
第10回	Genocide and Crimes against Humanity 後編	テキスト66-68頁 小テスト
第11回	Landmines 前編	テキスト69-71頁 小テスト
第12回	Landmines 後編	テキスト72-74頁 小テスト
第13回	Refugees 前編	テキスト75-77頁 小テスト
第14回	Refugees 後編	テキスト78-80頁 小テスト
第15回	まとめ	音読テスト・グループ発表

担当者から一言

--

講義名	英語 B (国際b)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120528	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

この授業では、New York Timesの記事を題材にした文章の読解を通じて、国際的に話題になっている事柄に関する知識を深めることを目標とする。また、主体的に英語を使ってディスカッションを行う姿勢を育むため、各自で興味深い新聞記事などを見つけて、それをグループ(ペア)で紹介・発表することも合わせて行う。十分に予習を行って授業に臨んでもらいたい。

到達目標

- (1) 長い文章の要点を短時間で把握し、理解する読解力
- (2) 語彙の増強
- (3) 海外から見た日本のイメージや欧米文化への理解
- (4) グループ発表による英語でのディスカッション能力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	詳細は下記に添付するルーブリックを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト(20%) 単語テスト(10%) グループ発表(20%)

欠席が4回を超えた場合は、評価の対象としない。冒頭で単語テストを行うので、遅刻した場合は必然的に単語テストの平均スコアが下がります。

授業外学習

グループ発表では各々授業外で集まってしっかりと準備を行うこと。発表内容は事前に連絡してください(詳細は初回時に指示します)。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ニューヨーク・タイムズで高める英語と国際教養	小塚良孝、渡辺秀樹	成美堂	978-4-7919-3392-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120535	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

In some classes, students write original sentences for games and play the games. In later classes, students write a more complete story. Students can work by themselves or with a partner or in groups of 3. In Action Picture classes, students dictate stories to each other. The teacher goes around the classroom to look at students' writing and explains any mistakes. Students pay attention to the teacher during the explanations and so improve their writing ability by learning from their own mistakes. The teacher suggests ways to use cursive writing.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	50% Story. Write a story about everyday events. Individual or Pair. (Expand the story of Lesson 6.)(Writing Objective 1 = 25%. 2 = 50%. 3 = 25%.)
レポート課題		
上記以外	50	50% Portfolio. Teacher will check to see that each student has written all the topics. (Collect all your writings for each week.)(Writing Objective 1 = 25%. 2 = 50%. 3 = 25%.)

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 1 hour per week. Write your original sentences and story.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120535	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Q & A Card Game.	Write original sentences for a question-and-answer game.
第2回	A-Z Alphabet Game.	Write original sentences for the Alphabet game.
第3回	Childhood Cards.	Write about your childhood and school days, prompted by picture cards.
第4回	Three Questions Board Game.	Write original sentences for the topics on the board.
第5回	Question Spiral Board Game.	Write sentences using the questions on the board.
第6回	Never Ending Story.	Write a story about everyday events using picture cards. Expand this story into a better, more interesting story.
第7回	2nd Look.	Find the differences in two similar pictures. Check your own answers.
第8回	Action English Pictures A&B.	Dictation. Listen for key or important words, then try to write full sentences using these words. Check your own spelling & grammar.
第9回	Action English Pictures C&D.	Dictation and Check your own spelling & grammar.
第10回	Trip to Italy.	Write about a trip to Italy using picture cards for ideas about what to say.
第11回	Christmas songs.	Read, say, listen.
第12回	play the games	Students play the games done this far. Continue writing your story.
第13回	improve your story	Continue improving your story. Teacher checks your spelling & grammar.
第14回	read aloud your story	Students read aloud their stories to the teacher and receive a grade.
第15回	Animals Quiz Game.	Teacher looks at your writing portfolio, so be sure to bring it to class.

担当者から一言

講義名	英語 B (国際a)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120536	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Academic Writing		Oxford	978-0-19-432346-8
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120537	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

In some classes, students write original sentences for games and play the games. In later classes, students write a more complete story. Students can work by themselves or with a partner or in groups of 3. In Action Picture classes, students dictate stories to each other. The teacher goes around the classroom to look at students' writing and explains any mistakes. Students pay attention to the teacher during the explanations and so improve their writing ability by learning from their own mistakes. The teacher suggests ways to use cursive writing.

到達目標

Objectives: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs (with proficient use of a wide range of structures & stylistic devices) that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	50% Story. Write a story about everyday events. Individual or Pair. (Expand the story of Lesson 6.)(Writing Objective 1 = 25%. 2 = 50%. 3 = 25%.)
レポート課題		
上記以外	50	50% Portfolio. Teacher will check to see that each student has written all the topics. (Collect all your writings for each week.)(Writing Objective 1 = 25%. 2 = 50%. 3 = 25%.)

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 1 hour per week. Write your original sentences and story.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120538	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Academic Writing		Oxford	978-0-19-432346-8
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120538	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Class orientation	Introduce the course, self introductions, ice breaking activities
第2回	Spain	Talk about Spanish culture. Talk about customs and immigration.
第3回	China	Talk about Chinese culture. Talk about asking questions at a hotel reception desk.
第4回	Peru	Talk about Peruvian culture. Talk about checking-in at a hotel.
第5回	Pair interview test	In pairs, students will recite one of the units we have covered in class. Unit to be determined at random.
第6回	Japan	Talk about Japanese culture. Students will describe their home culture.
第7回	U.S.A, New York	Talk about American culture. Students will practice giving and receiving directions.
第8回	Antartica	Talk about Frozen, Karaoke, and the effects of understanding multiple languages.
第9回	India	Talk about Indian culture. Students will practice how to bargain and negotiate
第10回	New Zealand	Talk about New Zealand culture and extreme sports.
第11回	Africa	Talk about African culture. Students will practice describing items.
第12回	Culture research paper	Culture research paper is due. Students will talk about their paper in pairs and small groups in English. If time, talk about Cambodian culture.
第13回	Egypt	Talk about Egyptian and Italian culture. Talk about ordering at a restaurant. Explain Final paper
第14回	Review for Final	Give students time to prepare and practice for Final paper
第15回	Final paper	Students submit their final papers

担当者から一言		
---------	--	--

You must do your homework before class each week so that you can fully participate in the classroom activities. Please bring a dictionary to class.

講義名	ドイツ語 A (国際)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120541	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。

到達目標

発音、語順、動詞（現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞）、名詞類（性・数・格）、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（５）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン 1 場面 で学ぶ ドイツ語 (CD 付)	佐藤修子/ハイケ・パーベンティン/下田恭子/ゲーザ・オルデハー	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120541	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の説明、辞書紹介、発音練習（アルファベート） など
第2回	発音練習（1）	表現：挨拶
第3回	発音練習（2）	基数；表現：自己紹介(1)
第4回	現在人称変化	表現：自己紹介(2)、他人を紹介する
第5回	語順	肯定文、疑問文、否定文；sein, haben
第6回	冠詞、名詞の性	会話練習：レストランで飲み物を注文する
第7回	名詞の複数形	文法＋表現
第8回	人称代名詞の格変化	会話練習：3格と4格の練習
第9回	前置詞	会話練習：待ち合わせをする
第10回	話法の助動詞	文法＆表現＋会話練習
第11回	命令形	文法＆表現＋会話練習
第12回	分離動詞	会話練習：予定を尋ねる
第13回	zu-不定詞（1）	文法＆表現
第14回	zu-不定詞（2）	会話練習
第15回	まとめ	課題（模擬試験）＋口述試験

担当者から一言

言語を習得するには時間がかかります。失敗を恐れずに我慢強く毎回練習を積み重ねていきましょう。

講義名	ドイツ語 B (国際)				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1120542	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL102						

授業概要

ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン1. 場面で学ぶドイツ語 (CD付)	佐藤修子 / ハイケ・パーペンティン / 下田恭子 / ゲーザ・	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120551	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL201						

授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関しては、前回の復習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしていきたい。

到達目標

zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5) 参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (国際)				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1120552	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL202						

授業概要

ドイツ語 同様、ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では引き続き、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。また文法と語彙の知識に合わせ、より複雑な表現も身につけていくようにする。ドイツ語 同様、今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ある程度複雑な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1120561	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

授業概要

この授業では、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標に示す(1)(2)については、定期試験(60%)および1課が済むごとに実施する小テスト(20%)によって評価する。
レポート課題		
上記以外	20	(3)(4)については宿題を期限通りに済ませているかの確認(20%)によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語初学者。

履修資格

講義名	フランス語 B (国際)				担当教員	Gilles Fernandez	
講義コード	1120562	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL112						

授業概要

この授業では、フランス語の文法の基礎を学び、自然な日常会話ができるようになることを目標とします。

授業の中では学生がフランス語を話す時間を最大限に作り、楽しくてアクティブなクラスになるよう、ペアで発音と会話を練習します。「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

この授業ではフランス語で書かれている教科書を使用します。生徒には積極的な授業への参加と習慣的に学習に取り組む姿勢を期待します。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	小テスト(語彙/会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1120571	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL211						

授業概要

前期に引き続き、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、基本的な文法を学習します。文法を理解することは、会話や読解、作文など言語運用のあらゆる局面において必要不可欠です。毎回かならず授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、一つずつ確実に身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標に示す(1)(2)については、定期試験(60%)および1課が済むごとに実施する小テスト(20%)によって評価する。
レポート課題		
上記以外	20	(3)(4)については宿題を期限通りに済ませているかの確認(20%)によって評価する。

授業外学習

授業の進度にしたがって、毎回宿題を課します。宿題はかならずノートにすること。小テストは原則として、毎回実施します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine		第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語IA履修済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1120571	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL211						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	(7 課前半)	日常や過去の状況について話す 時の表現 (1)
第2回	(7 課後半)	
第3回	(8 課前半)	未来の計画について話す 評価する
第4回	(8 課後半)	
第5回	(9 課前半)	交通機関について尋ねる 比較する
第6回	(9 課後半)	
第7回	これまでの復習	
第8回	(1 0 課前半)	誘う 道を尋ねる / 示す
第9回	(1 0 課後半)	
第10回	(1 1 課前半)	活動を提案する (2) 誘いを受ける / 断る
第11回	(1 1 課後半)	
第12回	(1 2 課前半)	人物を描写する (2) 印象や気持ちを言う
第13回	(1 2 課後半)	
第14回	これまでの復習	
第15回	応用練習	

担当者から一言

講義名	フランス語 B (国際)				担当教員	Gilles Fernandez	
講義コード	1120572	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL212						

授業概要

この授業はフランス語 Bの続きです。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	小テスト(語彙/会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Le Nouveau Taxi! 1	Guy Capelle, Robert Menand	Hachette Pearson Education Japan	978-2-01-155548-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (国際)				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1120581	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

授業概要

中国語 Aは中国語の基礎を学びます。先ず徹底して発音の習得に努め、簡単な日常の挨拶語などを学びます。それと同時に基本文型（文法知識）はもちろんのこと、簡単なリスニングを含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて解いていきます。

到達目標

- (1) 中国語の発音を習得する。
- (2) 基本文型を学び、簡単なコミュニケーションができるようになる。
- (3) 中国語検定試験の準4級レベルに達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験(発音に関するリスニング問題を含む)を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、放火の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1120582	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL122						

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語ー初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1120582	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL122						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 基礎発音(1)	主に四声の勉強をします。
第2回	第2回 基礎発音(2)	主に母音の勉強をします。
第3回	第3回 基礎発音(3)	主に子音の勉強をし、発音全体をまとめます。
第4回	第4回 どうぞよろしく	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第5回	第5回 人称代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第6回	第6回 花がすきですか	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第7回	第7回 指示代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第8回	第8回 だれに手紙を書くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第9回	第9回 存在表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第10回	第10回 本屋は何時に開くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第11回	第11回 数量表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第12回	第12回 風邪を引いたの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第13回	第13回 過去形の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第14回	第14回 映像教材	映像を見ながら、単語や文の聞き取りの勉強をします。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を整理し、まとめます。

担当者から一言

継続は力なり。

講義名	中国語 A (国際)				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1120591	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL221						

授業概要

中国語 Aは中国語 Aに引き続いて、中国語の基本文型（文法知識）を学びます。その過程で簡単なリスニングなどを含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて解きます。

到達目標

- (1) 中国語で自己紹介ができるようになる。
- (2) 簡単な中国語を「聞き取り、応答ができるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験(リスニング問題を含む)を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1120592	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL222						

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	小テスト・宿題・レポートで評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)				担当教員	河 かおる	
講義コード	1120601	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL131						

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 固有数詞・漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、中間テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 バランセ韓国語 初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)				担当教員	河 かおる	
講義コード	1120601	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL131						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	朝鮮語 (韓国語) について / 文字と発音1 (母音字) / あいさつ 1、2
第2回	文字と発音	文字と発音2 (子音字)
第3回	文字と発音	あいさつ 3、4、5 / ミニ会話1
第4回	文字と発音	文字と発音3 (子音字)
第5回	文字と発音	文字と発音4 (二重母音字)
第6回	文字と発音	あいさつ 6、7 / ミニ会話2
第7回	文字と発音	文字と発音5 (パッチム)
第8回	文字と発音	あいづち言葉1 / 身体に関する単語
第9回	文字と発音	文字と発音6 (発音のルール)
第10回	文字と発音	あいづち言葉2 / ミニ会話3 / 辞書の引き方
第11回	中間テスト	第10回までの学習内容の確認テスト
第12回	第1課	私の名前は～です (指定詞と名詞文)
第13回	第1課	私の名前は～です (会話と練習)
第14回	第2課	～ではありません (名詞の否定文)
第15回	第2課	～ではありません (会話と練習)
第16回	第3課	携帯の番号は何番ですか (漢数詞)
第17回	第3課	携帯の番号は何番ですか (会話と練習)
第18回	第4課	私の辞書は家にあります (ハムニダ体、存在詞)
第19回	第4課	私の辞書は家にあります (会話と練習)
第20回	第5課	誕生日はいつですか (年月日) (会話と練習)
第21回	第6課	私より2歳年下です (固有数詞、用言の否定形1)
第22回	第6課	私より2歳年下です (会話と練習)
第23回	第7課	授業は何時に終わりますか (時刻) (会話と練習)
第24回	第8課	日本語学校には行かないのですか (用言の否定形2)
第25回	第8課	日本語学校には行かないのですか (会話と練習)
第26回	第9課	「マンドゥ」が大好きですか (尊敬形) (会話と練習)
第27回	第10課	スミンと一緒に一度来て下さい (ヘヨ体)
第28回	第10課	スミンと一緒に一度来て下さい (会話と練習)
第29回	第11課	来年の春にまた来たいです (ハダ用言のヘヨ体、願望) (会話と練習)
第30回	第12課	ひとついくらですか (指定詞のヘヨ体、命令) (会話と練習)

担当者から一言

講義名	朝鮮語 B (国際)				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120602	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL132						

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 固有数詞・漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、中間テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 バランセ韓国語 初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	978-4-255-55626-0
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120602	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL132						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音	朝鮮語 (韓国語) について / 文字と発音1 (母音字) / あいさつ 1、2
第2回	文字と発音	文字と発音2 (子音字)
第3回	文字と発音	あいさつ 3、4、5 / ミニ会話1
第4回	文字と発音	文字と発音3 (子音字)
第5回	文字と発音	文字と発音4 (二重母音字)
第6回	文字と発音	あいさつ 6、7 / ミニ会話2
第7回	文字と発音	文字と発音5 (パッチム)
第8回	文字と発音	あいづち言葉1 / 身体に関する単語
第9回	文字と発音	文字と発音6 (発音のルール)
第10回	文字と発音	あいづち言葉2 / ミニ会話3 / 辞書の引き方
第11回	中間テスト	第10回までの学習内容の確認テスト
第12回	第1課	私の名前は～です (指定詞と名詞文)
第13回	第1課	私の名前は～です (会話と練習)
第14回	第2課	～ではありません (名詞の否定文)
第15回	第2課	～ではありません (会話と練習)
第16回	第3課	携帯の番号は何番ですか (漢数詞)
第17回	第3課	携帯の番号は何番ですか (会話と練習)
第18回	第4課	私の辞書は家にあります (ハムニダ体、存在詞)
第19回	第4課	私の辞書は家にあります (会話と練習)
第20回	第5課	誕生日はいつですか (年月日) (会話と練習)
第21回	第6課	私より2歳年下です (固有数詞、用言の否定形1)
第22回	第6課	私より2歳年下です (会話と練習)
第23回	第7課	授業は何時に終わりますか (時刻) (会話と練習)
第24回	第8課	日本語学校には行かないのですか (用言の否定形2)
第25回	第8課	日本語学校には行かないのですか (会話と練習)
第26回	第9課	「マンドゥ」が大好きですか (尊敬形) (会話と練習)
第27回	第10課	スミンと一緒に一度来て下さい (ヘヨ体)
第28回	第10課	スミンと一緒に一度来て下さい (会話と練習)
第29回	第11課	来年の春にまた来たいです (ハダ用言のヘヨ体、願望) (会話と練習)
第30回	第12課	ひとついくらですか (指定詞のヘヨ体、命令) (会話と練習)

担当者から一言

講義名	朝鮮語 A (国際)				担当教員	河 かおる	
講義コード	1120611	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL231						

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 バランセ韓国語 初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	
2	改訂版 バランセ韓国語 中級	金京子	朝日出版社	
3				

最初は前期に引き続き初級の教科書を使用するので、初回の授業では『改訂版 バランセ韓国語 初級』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・Bを履修済みであること。またはハングル能力検定試験5級合格程度の学力を有していること。

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)				担当教員	河 かおる	
講義コード	1120611	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL231						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	初級13課	ご両親へのお土産は買いましたか(過去形1)(会話と練習)
第2回	初級14課	昨日地下鉄に乗っていました(過去形2、勧誘)(会話と練習)
第3回	初級15課	お父さんはおいくつですか(ヘヨ体の尊敬計、確認)(会話と練習)
第4回	初級16課	今週の土曜日の飛行機なんですよ(説明、尊敬、比喩や推量)(会話と練習)
第5回	初級まとめテスト	初級の学習内容に関する確認テスト ハンゲル能力検定試験5級レベルの確認テスト
第6回	第1課	並列・順次、逆説、進行、希望、意図
第7回	第1課	家族の紹介(構成、年齢、職業、趣味など)
第8回	第2課	理由・前提動作、直接引用、名詞文の引用・伝聞
第9回	第2課	自己紹介(年齢、学年、出身など)
第10回	第3課	~ですって?、~するのですか、~ですね
第11回	第3課	付き合い(電話番号、誕生日、将来の夢など)
第12回	第4課	能力否定、理由・根拠の説明
第13回	第4課	言い訳(体調や説明の根拠など)
第14回	第5課	課程・条件、許可・禁止、ヘヨ体の勧誘・命令、道案内
第15回	第6課	連用形と連用形を含む慣用表現、動詞の変則活用
第16回	第6課	友だちの紹介(初めてのあいさつ、注文など)
第17回	第7課	連体形1、~でも
第18回	第7課	休日の予定(予定を聞く、映画に誘うなど)
第19回	第8課	過去連体形を含む慣用表現、目的、動詞の変則活用
第20回	第8課	日記(順次、目的の表現など)
第21回	第9課	連体形2、褒める、許可
第22回	第9課	服装(状態、許容の表現、服装についての説明など)
第23回	第10課	意向の確認、医師、約束、動詞の変則活用
第24回	第10課	招待(食事の準備など)
第25回	第11課	未来連体形を含む慣用表現、義務、食事と運動
第26回	第12課	丁寧な命令、未来意志・推量、動詞の変則活用
第27回	第12課	外国語の学習法(命令、依頼など)
第28回	第13課	前置きと理由、~のせいで
第29回	第13課	訪問(あいさつ、理由、近況など)
第30回	第18課	経験、可能・不可能

担当者から一言

講義名	朝鮮語 B (国際)				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120612	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 バランセ韓国語 初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	
2	改訂版 バランセ韓国語 中級	金京子	朝日出版社	
3				

最初は前期に引き続き初級の教科書を使用するので、初回の授業では『改訂版 バランセ韓国語 初級』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・Bを履修済みであること。またはハングル能力検定試験5級合格程度の学力を有していること。

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120612	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	初級13課	ご両親へのお土産は買いましたか(過去形1)(会話と練習)
第2回	初級14課	昨日地下鉄に乗っていました(過去形2、勧誘)(会話と練習)
第3回	初級15課	お父さんはおいくつですか(ヘヨ体の尊敬計、確認)(会話と練習)
第4回	初級16課	今週の土曜日の飛行機なんですよ(説明、尊敬、比喩や推量)(会話と練習)
第5回	初級まとめテスト	初級の学習内容に関する確認テスト ハンゲル能力検定試験5級レベルの確認テスト
第6回	第1課	並列・順次、逆説、進行、希望、意図
第7回	第1課	家族の紹介(構成、年齢、職業、趣味など)
第8回	第2課	理由・前提動作、直接引用、名詞文の引用・伝聞
第9回	第2課	自己紹介(年齢、学年、出身など)
第10回	第3課	~ですって?、~するのですか、~ですね
第11回	第3課	付き合い(電話番号、誕生日、将来の夢など)
第12回	第4課	能力否定、理由・根拠の説明
第13回	第4課	言い訳(体調や説明の根拠など)
第14回	第5課	課程・条件、許可・禁止、ヘヨ体の勧誘・命令、道案内
第15回	第6課	連用形と連用形を含む慣用表現、動詞の変則活用
第16回	第6課	友だちの紹介(初めてのあいさつ、注文など)
第17回	第7課	連体形1、~でも
第18回	第7課	休日の予定(予定を聞く、映画に誘うなど)
第19回	第8課	過去連体形を含む慣用表現、目的、動詞の変則活用
第20回	第8課	日記(順次、目的の表現など)
第21回	第9課	連体形2、褒める、許可
第22回	第9課	服装(状態、許容の表現、服装についての説明など)
第23回	第10課	意向の確認、医師、約束、動詞の変則活用
第24回	第10課	招待(食事の準備など)
第25回	第11課	未来連体形を含む慣用表現、義務、食事と運動
第26回	第12課	丁寧な命令、未来意志・推量、動詞の変則活用
第27回	第12課	外国語の学習法(命令、依頼など)
第28回	第13課	前置きと理由、~のせいで
第29回	第13課	訪問(あいさつ、理由、近況など)
第30回	第18課	経験、可能・不可能

担当者から一言

講義名	リーディング(中級) a				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120620	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐり見識を広げておくことも読解力そのものの助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることを目指します。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

到達目標

受信：本文の要点を一段落の英語で要約できる。
 受信：五文以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 発信：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。
 発信：本文を読んで考えたことを一段落以上の英語で書き表すことができる。
 見識：ひとつの国際的な課題に関して一分間以上日本語で説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 書き換えテスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リーディング(中級)a					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1120620	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Sleep Matters 前編	テキスト24-33頁 小テスト
第3回	Sleep Matters 後編	テキスト34-39頁 小テスト
第4回	Happy Planet 前編	テキスト56-65頁 小テスト
第5回	Happy Planet 後編	テキスト66-71頁 小テスト
第6回	Career Paths 前編	テキスト72-81頁 小テスト
第7回	Career Paths 後編	テキスト82-87頁 小テスト
第8回	ワークショップ	創造的思考の体験
第9回	Text Generation 前編	テキスト88-97頁 小テスト
第10回	Text Generation 後編	テキスト98-103頁 小テスト
第11回	Barriers and Biridges 前編	テキスト104-113頁 小テスト
第12回	Barriers and Bridges 後編	テキスト114-119頁 小テスト
第13回	Personality Types 前編	テキスト120-129頁 小テスト
第14回	Personality Types 後編	テキスト130-135頁 小テスト
第15回	まとめ	書き換えテスト・音読テスト

担当者から一言

--

講義名	リーディング(中級)b				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120621	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐる見識を広げておくことも読解力そのものの助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることを目指します。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

到達目標

受信：本文の要点を一段落の英語で要約できる。
 受信：五文以上の英文を別の英語で書き換えることができる。
 発信：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。
 発信：本文を読んで考えたことを一段落以上の英語で書き表すことができる。
 見識：ひとつの国際的な課題に関して一分間以上日本語で説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 書き換えテスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リーディング(中級) b				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120621	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方の共通確認
第2回	Sleep Matters 前編	テキスト24-33頁 小テスト
第3回	Sleep Matters 後編	テキスト34-39頁 小テスト
第4回	Happy Planet 前編	テキスト56-65頁 小テスト
第5回	Happy Planet 後編	テキスト66-71頁 小テスト
第6回	Career Paths 前編	テキスト72-81頁 小テスト
第7回	Career Paths 後編	テキスト82-87頁 小テスト
第8回	ワークショップ	創造的思考の体験
第9回	Text Generation 前編	テキスト88-97頁 小テスト
第10回	Text Generation 後編	テキスト98-103頁 小テスト
第11回	Barriers and Biridges 前編	テキスト104-113頁 小テスト
第12回	Barriers and Bridges 後編	テキスト114-119頁 小テスト
第13回	Personality Types 前編	テキスト120-129頁 小テスト
第14回	Personality Types 後編	テキスト130-135頁 小テスト
第15回	まとめ	書き換えテスト・音読テスト

担当者から一言

--

講義名	リスニング(中級) a				担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1120640	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG301						

授業概要

自然な速度で話される美術、心理学、教育、経済学、英文学、政治学などの幅広い内容について、要点を押さえながら効果的にノートを取る方法や、内容に関連のある語彙を習得する。双方向の会話とは異なったアカデミックな場面での一方の聞き取りの練習を多く行なう。

到達目標

- (1) 大学で学ぶような高度な内容についての聴解力を身につける
- (2) その内容に関する語彙(大学で多く使用される)を習得する
- (3) 効果的なノートの取り方を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10	3回のReview Exerciseから出題する
レポート課題		
上記以外	90	3回のReview Exerciseは毎回リスニングテスト(30%)と語彙テスト(30%)とする。また、毎回授業でのNote-takingを30%として評価する。

4回以上欠席の場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	AIRWAVES-Advanced,	Dale Fuller	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	978-4-7773-6417-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング（中級）a					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	301ENG301						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	
第2回	Art Appreciation	
第3回	Regaining a Beautiful Mind	
第4回	Social Issues of the Day	
第5回	Review Exercise	リスニングと語彙のReview test
第6回	Music's Impact on Our World	
第7回	A Closer Look at Democracy	
第8回	Argentina: Land of Diversity	
第9回	Review Exercise	
第10回	Understanding Economics Systems	
第11回	Education Matters	
第12回	Group work	
第13回	The Great Debate in Science	
第14回	Health and Nutrition	
第15回	Review Exercise	
担当者から一言		

講義名	リスニング(中級) b				担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1120641	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG301						

授業概要

自然な速度で話される美術、心理学、教育、経済学、英文学、政治学などの幅広い内容について、要点を押さえながら効果的にノートを取る方法や、内容に関連のある語彙を習得する。双方向の会話とは異なったアカデミックな場面での一方の聞き取りの練習を多く行なう。

到達目標

- (1) 大学で学ぶような高度な内容についての聴解力を身につける
- (2) その内容に関する語彙(大学で多く使用される)を習得する
- (3) 効果的なノートの取り方を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10	3回のReview Exerciseから出題する
レポート課題		
上記以外	90	3回のReview Exerciseは毎回リスニングテスト(30%)と語彙テスト(30%)とする。また、毎回授業でのNote-takingを30%として評価する。

4回以上欠席の場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	AIRWAVES-Advanced,	Dale Fuller	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	978-4-7773-6417-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ディベート&ディスカッション a					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120650	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ディベート&ディスカッション a				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120650	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	
第3回	Theme 1 discussions	
第4回	Students' research (a) discussions	
第5回	Students' research (b) discussions	
第6回	Debating skills	
第7回	Theme 1 debate	
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	
第9回	Theme 2 discussion	
第10回	Students' research (a) discussion	
第11回	Students' research (b) discussion	
第12回	Theme 2 debate	
第13回	Presentation I	
第14回	Presentation II	
第15回	Presentation III	

担当者から一言

講義名	ディベート&ディスカッションb					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:
- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ディベート&ディスカッション b					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	
第3回	Theme 1 discussions	
第4回	Students' research (a) discussions	
第5回	Students' research (b) discussions	
第6回	Debating skills	
第7回	Theme 1 debate	
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	
第9回	Theme 2 discussion	
第10回	Students' research (a) discussion	
第11回	Students' research (b) discussion	
第12回	Theme 2 debate	
第13回	Presentation I	
第14回	Presentation II	
第15回	Presentation III	

担当者から一言

講義名	Introduction to Discussion & Debate a				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120653	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207						

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate a				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120653	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	
第3回	Theme 1 discussions	
第4回	Students' research (a) discussions	
第5回	Students' research (b) discussions	
第6回	Debating skills	
第7回	Theme 1 debate	
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	
第9回	Theme 2 discussion	
第10回	Students' research (a) discussion	
第11回	Students' research (b) discussion	
第12回	Theme 2 debate	
第13回	Presentation I	
第14回	Presentation II	
第15回	Presentation III	

担当者から一言

講義名	Introduction to Discussion & Debate b				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120654	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207						

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	エッセイ・ライティング					担当教員	John Rippey
講義コード	1120670	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course also represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length.

到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	エッセイ・ライティング				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120670	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the writing tasks, goals, and pacing of the course, and an introductory in-class writing task.
第2回	Introduction to Personal Narrative	Close reading and discussion of several personal narratives.
第3回	Personal Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original personal narratives.
第4回	Personal Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of personal narratives.
第5回	Introduction to Speculative Essay	Oral reading of final drafts of personal narratives, followed by close reading and discussion of several speculative essays.
第6回	Speculative Essay, First Draft	Brainstorming on first drafts of original speculative essays.
第7回	Speculative Essay, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of speculative essays.
第8回	Writing Styles Review	Oral reading of final drafts of speculative essays, general discussion of writing genres, and confirmation of individual writing styles.
第9回	Introduction to Fictional Narrative	Close reading and discussion of several short stories.
第10回	Fictional Narrative, First Draft	Brainstorming on first drafts of original short stories.
第11回	Fictional Narrative, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of short stories.
第12回	Introduction to Extended Dialogue	Oral reading of final drafts of short stories, followed by close reading and discussion of several extended dialogues.
第13回	Extended Dialogue, First Draft	Brainstorming on first drafts of original extended dialogues.
第14回	Extended Dialogue, Second Draft	Deep reading and peer feedback on second drafts of extended dialogues.
第15回	Overview	Oral reading (performance) of final drafts of extended dialogues, confirmation of characteristics of student individual writing style and tendencies.

担当者から一言

Writing is an especially fulfilling mode of communication. In addition to writing, the course involves large amounts of discussion and reading.

講義名	Essay Writing				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120675	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG402,237ENG206						

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course also represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length.

到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	留学英語対策基礎講座				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120685	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

到達目標

- (1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847187
2	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, CD set	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847163
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120686	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	301ENG403,137PEN102						

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

到達目標

- (1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847187
2	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, CD set	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847163
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120686	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	301ENG403,137PEN102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test and academic English, confirmation of study strategies.
第2回	Academic Vocabulary	Review of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第7回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第8回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第9回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第10回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第11回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第12回	Reading Exercises (4)	Reading passages and comprehension questions.
第13回	Grammar Exercises (4)	Structure and written expression questions.
第14回	Listening Exercises (4)	Listening passages and comprehension questions.
第15回	Review	Comprehensive review of all coursework.

担当者から一言

This course offers students academic credit for guided, individual TOEFL ITP study done over the summer break. The coursework consists mainly of compulsory and regularly-spaced homework assignments.

講義名	留学英語対策講座				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120690	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業概要

To succeed on the TOEFL, linguistic knowledge is of course vital. On the paper-based test, the language skills of listening and reading are also important. However, to maximise your potential score it is also essential to have a deep understanding of the test format and the strategies that can help you on the different sections. In this course, we will look in detail at the three sections — Listening Comprehension, Structure and Written Expression, and Reading Comprehension — and discover some of the techniques and strategies to tackle the questions in each. We will also study key vocabulary frequently found in the TOEFL. Finally, students will use this knowledge to create TOEFL-style questions.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL scores. Specifically, the course aims to further familiarise students with the various sections of the TOEFL paper-based test, and to look at test taking strategies and key vocabulary.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The complete guide to the TOEFL test (PBT edition)	Rogers, B.	HEINLE CENGAGE	978-1-111-22059-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English I				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120695	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG304, 137PEN209						

授業概要

To succeed on the TOEFL, linguistic knowledge is of course vital. On the paper-based test, the language skills of listening and reading are also important. However, to maximise your potential score it is also essential to have a deep understanding of the test format and the strategies that can help you on the different sections. In this course, we will look in detail at the three sections — Listening Comprehension, Structure and Written Expression, and Reading Comprehension — and discover some of the techniques and strategies to tackle the questions in each. We will also study key vocabulary frequently found in the TOEFL. Finally, students will use this knowledge to create TOEFL-style questions.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL scores. Specifically, the course aims to further familiarise students with the various sections of the TOEFL paper-based test, and to look at test taking strategies and key vocabulary.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The complete guide to the TOEFL test (PBT edition)	Rogers, B.	HEINLE CENGAGE	978-1-111-22059-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	留学英語対策講座					担当教員	John Rippey
講義コード	1120700	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
- (2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Speaking	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-515460-1
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Writing	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-612657-7
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English II				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120705	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG404, 137PEN210						

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Speaking	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-515460-1
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Writing	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-612657-7
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English II				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120705	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG404,137PEN210						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL-iBT test, study strategies, and course materials.
第2回	Independent Writing	Homework reading review, overview and practice of independent writing questions.
第3回	Independent Speaking	Homework reading review, overview and practice of independent speaking questions.
第4回	Integrated Writing	Homework reading review, overview and practice of integrated writing questions.
第5回	Integrated Speaking	Homework reading review, overview and practice of integrated speaking questions.
第6回	Writing Practice Tests (1)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第7回	Speaking Practice Tests (1)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第8回	Writing Practice Tests (2)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第9回	Speaking Practice Tests (2)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第10回	Writing Practice Tests (3)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第11回	Speaking Practice Tests (3)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第12回	Writing Practice Tests (4)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第13回	Speaking Practice Tests (4)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第14回	Review	Overview of all coursework and preview of the final examination.
第15回	Plans of Study	Consultation and generation of individual plans for future TOEFL study.

担当者から一言

Homework is assigned each week and characteristically consists of TOEFL reading sections. The TOEFL-iBT is a challenging test, and this course involves a relatively heavy workload.

講義名	English for Business				担当教員	Fuisting Bjorn	
講義コード	1120715	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	301ENG405,237PEN308						

授業概要

In this course the emphasis is on communication in business situations. Students will develop their oral and communication skills. They will learn the some key business skills such as introduction, business presentations and discussing graphs.

By the end of this course you should be able to:

- be comfortable meeting business partners
- be able to make bookings and requests
- be able to discuss graphs
- be able to make a short business presentation

到達目標

This is a 3 day Business English course and the focus will be on communication and pair/group work.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Attendance & active participation: 40% Quizzes & homework: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Handouts will be provided.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	メディアの英語					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120720	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

この授業では、生きた英語4技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ(1939)の脚本と一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy. Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).
Write your comments for each class (9 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show's Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay's Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	メディアの英語				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120720	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Love of the Land	ガイダンス。授業の概要、成績評価の方法について。映画の「Love of the Land (土地への愛情)」の朗読、視聴。コメントを書く
第2回	Twelve Oaks	先週の復習。Twelve Oaks (トゥエルヴ・オークス)の朗読、視聴、コメントを書く
第3回	Young Widow	Young Widow (若い未亡人)の朗読、視聴、コメントを書く
第4回	When the war is over	When the war is over (戦争が終わったら)の朗読、視聴、コメントを書く
第5回	Panic in Atlanta	Panic in Atlanta (大混乱のアトランタ)の朗読、視聴、コメントを書く
第6回	Going Home	Going Home (故郷に帰る)の朗読、視聴、コメントを書く
第7回	Yankee Deserter	Yankee Deserter (北軍の脱走兵) の朗読、視聴、コメントを書く
第8回	Ashley Returns	Ashley Returns (アシュレーの帰還)の朗読、視聴、コメントを書く
第9回	Shantytown Attack	Shantytown Attack (貧民街の襲撃) の朗読、視聴、コメントを書く
第10回	Marriage to Rhett	Marriage to Rhett (レットとの結婚) & Tomorrow Is Another Day (明日はまた新しい日) の朗読、視聴、コメントを書く
第11回	Went with the Wind	参考エッセイを朗読、テレビ・パロディを視聴。演技のためのシーンの選択
第12回	Rehearsal	ペア又はグループで選択したシーンのリハーサル
第13回	Performance	ひとつのグループが演技をし、他の学生が評価をする
第14回	Commentary	Part 1のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
第15回	Commentary	Part 2のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
担当者から一言		

講義名	English in Media				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120725	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG305, 337LAC208						

授業概要

この授業では、生きた英語 4 技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ (1939) の脚本と一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy. Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).
Write your comments for each class (9 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show 's Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay 's Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学(国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員/小栗 裕子/河 かおる/ 小熊 猛/呉 凌非/島村 一平/ 地蔵堂 貞二/John Rippey/棚瀬 慈郎/ 谷口 真紀/橋本 周子/Borjigin Burensain/ Martin Hawkes/山本 薫/吉村 淳一	
講義コード	1150391	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM101						

授業概要

この授業は、学生自らが人間を探求し、人間とその社会、文化に対する新しい発想・発見を得ることを支援するためにおこなわれる。授業形態としては、基本的な導入教育からはじめて、担当教員による対面的な指導を取り入れておこなわれる。

到達目標

- (1) 研究の基盤となるような基本的な学問の手続きを習得する。
- (2) 学問に対する主体的なあり方についての自覚をもつ。
- (3) 自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	経済学（国際経済を含む）					担当教員	村上 一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC201, 214BRM290, 337ILA211						

授業概要

現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念、(2)家計、企業、政府の行動理論と現状、(3)マクロ政策の理論と現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門(第4版)	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学(第2版)	伊藤元重	日本評論社	
2				
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）					担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212PEL302, 235LAH303, 137ILA103						

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のりくりりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうかになってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているんだと理解してもらえるのがこの授業の目標です。

到達目標

- (1) ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
- (2) 公務員試験の法律・政治学関係の問題への基礎的知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『判例法学〔第5版〕』	西村健一郎、西井正弘	有斐閣	9784641184046
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アカデミック・ライティング					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400011	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

Academic writing involves the ability to discuss complex topics following a specified structure. To produce a high quality paper, it is essentially to plan an essay carefully. On this course, we take a 'process' approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correct cite and reference sources.

到達目標

The goals of this course are as follows:

- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Writing assignments: 70%
上記以外	30	Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アカデミック・リスニング					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400012	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

Outline:
Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates. Students by themselves or with a partner choose 4 discussion or debate topics and write a one-page report on each topic. (5 topics if the class size is small.) The teacher gives advice about grammar and how to make the writing more interesting. Students next read aloud their report to the teacher, who corrects any pronunciation problems. Students next read their reports aloud to other people and have a discussion or a debate. Students write about what the other group said, and read it to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Objectives:
Students will be able to talk about and/or debate topics encountered in everyday life, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	Grading: Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 25% x 4. Report Tests. Each Test has 2 parts, 50% for Speaking and 50% for Writing. Each of the 4 Speaking Objectives is worth 25% of the Speaking part.
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your reports.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

hand-outs

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Discussion & Debate					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1400013	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	337ENG309						

授業概要

Outline:
Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates. Students by themselves or with a partner choose 4 discussion or debate topics and write a one-page report on each topic. (5 topics if the class size is small.) The teacher gives advice about grammar and how to make the writing more interesting. Students next read aloud their report to the teacher, who corrects any pronunciation problems. Students next read their reports aloud to other people and have a discussion or a debate. Students write about what the other group said, and read it to the teacher. The teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Objectives:
Students will be able to talk about and/or debate topics encountered in everyday life, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	Grading: Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 25% x 4. Report Tests. Each Test has 2 parts, 50% for Speaking and 50% for Writing. Each of the 4 Speaking Objectives is worth 25% of the Speaking part.
上記以外		

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your reports.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

hand-outs

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Academic Writing					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337ENG310						

授業概要

Academic writing involves the ability to discuss complex topics following a specified structure. To produce a high quality paper, it is essentially to plan an essay carefully. On this course, we take a 'process' approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correct cite and reference sources.

到達目標

The goals of this course are as follows:

- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	Writing assignments: 70%
上記以外	30	Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Academic Writing					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337ENG310						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Opinion essay I	
第2回	Opinion essay II	
第3回	Opinion essay III	
第4回	Opinion essay IV	
第5回	Opinion essay V	
第6回	Cause & effect essay I	
第7回	Cause & effect essay II	
第8回	Cause & effect essay III	
第9回	Cause & effect essay IV	
第10回	Cause & effect essay V	
第11回	Compare & contrast essay I	
第12回	Compare & contrast essay II	
第13回	Compare & contrast essay III	
第14回	Compare & contrast essay IV	
第15回	Compare & contrast essay V	

担当者から一言

講義名	アジア文化特論A				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1400057	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC213						

授業概要

本授業では、「文言」と「白話」の違いを明確にしたうえで、現代中国語の源流に位置する「白話」が誕生した唐宋・五代から、宋、元を経て、明代、清代に「白話」で書かれている代表的な文献（例えば、『三国志演義』『西遊記』『水滸伝』『金瓶梅詞話』『紅樓夢』などの白話小説）を時代順に選び、作品の成立過程、作者と作品の言語の問題を解説します。なお、所謂「漢文」は中国では「文言」と呼ばれ、「白話」ではありません。

到達目標

- (1) 高校で学んだ「漢文」と現代中国語に繋がる「白話」の違いを理解する。
- (2) 唐宋・五代から清代までの時代ごとの代表的な白話文献についての知識を身につける。
- (3) 白話小説を辞書を傍らに置いて読み進められるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	到達目標(1)(2)(3)について、記述試験を行う。(90%)
レポート課題		
上記以外	20%	講義ノートを作成し、提出する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国の五大小説(上)	井波律子	岩波新書	978-4-00-431127-0
2	中国の五大小説(下)	井波律子	岩波書店	978-4-00-431128-7
3				

前提学力等

第二外国語として履修していること。また、履修は3年次以降が望ましい。

履修資格

講義名	アジア文化特論A				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1400057	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC213						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	四大奇書と五大小説	『三国演義』『西遊記』『水滸伝』『金瓶梅』『紅樓夢』の特徴について解説します。
第2回	中国語の歴史	中国語の時代区分について解説します。
第3回	近代漢語	古代漢語と近代漢語の違いについて解説します。
第4回	文言と白話	文言と白話について様々な角度から解説します。
第5回	唐末・五代の白話	唐代に行われていた「俗講」と敦煌変文について解説します。
第6回	白話小説誕生	宋代の庶民の娯楽場「瓦舎」で行われていた「説話」（講談）について解説します。
第7回	『西遊記』（ ）	『西遊記』の成立過程について解説します。
第8回	『西遊記』（ ）	『西遊記』の作者と言語について解説します。
第9回	『三国演義』（ ）	『三国演義』の成立過程について解説します。
第10回	『三国演義』（ ）	『三国演義』の言語について解説します。
第11回	『水滸伝』（ ）	『水滸伝』の成立過程について解説します。
第12回	『水滸伝』（ ）	『水滸伝』の作者と言語について解説します。
第13回	『金瓶梅』（ ）	『金瓶梅』の作者について解説します。
第14回	『金瓶梅』（ ）	『金瓶梅』の言語について解説します。
第15回	『紅樓夢』	『紅樓夢』の作者と言語について解説します。

担当者から一言

--

講義名	アジア文化特論B				担当教員	河 かおる	
講義コード	1400058	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	337WOC214						

授業概要

朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかみつつ、特に困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。

5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は学期末に調整する（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。

到達目標

- (1) 講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組める。
- (2) 朝鮮の近現代史、特に日本とかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができる。
- (3) 講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	期末課題（プレゼンテーション・レポート）
上記以外	50	小レポート

授業外学習

ほぼ毎回小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史	田中俊明	昭和堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の植民地支配 肯定・賛美論を検証する	水野直樹・藤永壯・駒込武	岩波書店	
2				
3				

授業内容に関する文献リストを授業で配付する。

前提学力等

アジア文化論Bを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	アジア文化特論C				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1400059	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC215						

授業概要

農村が八割以上を占める中国社会は、古今を問わず農民によって動かされてきた。その原動力の裏にはどんな仕組みが存在するであろうか。本講義では、農耕と文明との関係など、基礎的な知識を簡単に回顧したうえで、主として中国の農耕社会とその影響を受けて形勢された周辺地域の農耕社会を比較しながらアジアの農耕社会の仕組みを見ていきたい。また、農村問題を通して経済大国－中国が抱える問題とその行方を講義する。

到達目標

本講義では、世界最大規模の農耕社会を抱える中国の農村の社会構造を歴史的に整理したうえで、農耕大国中国の現状を理解できることを目指したい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に参加すること
レポート課題	30	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席とレスポンスカードによる積極的なやり取りを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化特論C					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337WOC215						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	世界最大の農耕社会である中国の農村問題を紹介
第2回	農耕と農村の起源	基層知識としての世界における農耕の起源を講義。
第3回	中国文明と農耕	中国における文明の起源と農耕との関係について講義。
第4回	牧畜の起源	農耕と同様な一次生産手段としての牧畜の起源を探ることによって、アジア南北各地の農村の姿を
第5回	新大陸原産穀物と中国	中国における人口の膨張と新大陸原産穀物との関係について講義。
第6回	秘密結社と中国社会(1)	中国社会を動かしてきた秘密結社の仕組みを講義
第7回	秘密結社と中国社会(2)	中国社会を動かしてきた秘密結社の仕組み講義
第8回	中国における人口問題	人口大国中国を歴史的に考察
第9回	現代中国における人口問題	現代中国における人口問題の構造を講義
第10回	中国農村の貧困問題	中国社会における農村の位置づけを講義
第11回	中国の出稼ぎ労働者	中国の経済発展を支える出稼ぎ労働者について講義。
第12回	中国における戸籍制度(1)	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第13回	中国における戸籍制度(2)	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第14回	中国における戸籍制度(3)	中国における二元戸籍制度の確立過程を講義
第15回	まとめ	講義をまとめ
担当者から一言		

講義名	アジア文化論 A					担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	137WOC105						

授業概要

本授業は、中国近現代史、とりわけ建国後の中国共産党史および日中関係史（日中国交正常化前後）を鳥瞰し、中国共産党一党独裁の問題、尖閣諸島領有権問題、歴史認識問題、靖国参拝問題、反日教育、一国二制度（香港・マカオ）、台湾問題、少数民族（チベット・ウイグル）問題などの政治・社会的、文化的背景を考察し、現代中国の理解に資することを目的とします。

到達目標

- (1) 中国共産党に関する基礎的な知識を得ることができる。
- (2) 日中国交正常化以後の日中関係に関する基礎的な知識を得ることができる。
- (3) 上記(1)(2)を学ぶことによって現在の日中関係への関心を高め、理解を深めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)について、論述式(一部穴埋め式)試験を行う。(50%) 到達目標(2)について、論述式(一部穴埋め式)試験を行う。(50%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論 A					担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	137WOC105						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	中国のトピックス	一人っ子政策廃止、周永康失脚、南沙諸島問題などの今の中国へ関心を寄せる。
第2回	中国共産党 ()	一党独裁体制の仕組みについて考察する。
第3回	中国共産党 ()	一党独裁の正当性について考察する。
第4回	中国共産党 ()	党内の諸問題 (党員の腐敗・汚職問題など) について考察する。
第5回	中国共産党 ()	国家統合問題 () (1) 中央と地方の関係、(2) 少数民族 (チベット族・ウイグル族) の分離・独立運動について考察
第6回	中国共産党史 ()	国家統合問題 () (3) 香港・マカオ、台湾問題について考察する。
第7回	中国共産党史 ()	中華人民共和国の成立、中ソ対立 (スターリン批判) について考察する。
第8回	中国共産党史 ()	毛沢東型社会主義について考察する。 1. 反右派闘争 2. 大躍進運動 3. 人民公社化運動
第9回	中国共産党史 ()	経済調整政策について考察する。 (1) アメリカによる中国封じ込め体制の構築、(2) 中ソ関係の悪化
第10回	中国共産党史 ()	文化大革命 () (1) 社会主義教育運動と階級闘争
第11回	中国共産党史 ()	文化大革命 () (1) 紅衛兵運動の終焉と第9回中国共産党大会
第12回	日中関係史 ()	日中国交正常化について考察する。 (1) 日中国交正常化以前の国際環境
第13回	日中関係史 ()	鄧小平の改革・開放政策と日中関係について考察する。 (1) 政府開発援助と円借款事業
第14回	日中関係史 ()	鄧小平後の日中関係について考察する。 (1) 胡耀邦・中曽根の「蜜月」時代
第15回	日中関係史 ()	対日政策決定の変遷について考察する。 (1) 冷戦終結、ソ連崩壊

担当者から一言

講義名	アジア文化論 B				担当教員	河 かおる	
講義コード	1400062	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC106						

授業概要

この授業では、隣国「朝鮮」（現在朝鮮半島にある二つの国家およびそれ以前も含む）について、次のような手順で理解を深め、考察していきます。前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について考えていきます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。後半は、韓国・朝鮮に関するトピックを3つとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループで調べ、最終的にプレゼンテーションをします。

到達目標

- (1) 朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。
- (2) 韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。
- (3) 韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	【レポート】 講義の前半で扱う朝鮮／韓国をめぐる「呼称」問題と関連するテーマを自分で具体的に設定し、文献等で調査を行い考察しなさい。
上記以外	70	【小レポート】30% 【プレゼンテーション】30% 【振り返りレポート】10%

授業外学習

ほぼ毎回、小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	アジア文化論B				担当教員	河 かねる	
講義コード	1400062	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC106						

授業計画						
回数	タイトル	概要				
第1回	ガイダンス	授業のねらい、レポート課題についての説明 自己紹介、この授業で知りたいと思っていることなど				
第2回	朝鮮の「国の呼称の歴史」について					
第3回	朝鮮の「国の呼称の歴史」について					
第4回	日本人は朝鮮／朝鮮人をどう呼んできたのか？					
第5回	言語名をめぐる呼称問題：「韓国語」「朝鮮語」「ハングル語」？					
第6回	トピック	朝鮮語の近現代史／祝祭日に見る韓国・朝鮮・日本				
第7回	レポートの発表会					
第8回	レポートの講評					
第9回	トピック	竹島／独島問題				
第10回	トピック	在外コリアン／在韓外国人（韓国の多文化政策）				
第11回	プレゼンテーション準備作業(1)					
第12回	プレゼンテーション準備作業(2)					
第13回	プレゼンテーション準備作業(3)					
第14回	プレゼンテーション(1)					
第15回	プレゼンテーション(2)					
担当者から一言						

講義名	アジア文化論C					担当教員	島村 一平
講義コード	1400063	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	137WOC107						

授業概要

【現代モンゴル文化論】

遊牧文化を基層文化とするモンゴル。顔は似ていてもその文化や社会は、農耕社会を基層文化とする日本とは全く異なる。本講義では、現代モンゴルの人々の暮らしや文化、社会などを紹介することで、現代日本に住む我々の文化や暮らしのあり方と比較考察していく。異文化という鏡を通して自文化を知るという視点を養うことを目的としたい。

具体的には「遊牧民」だけでなく、日本ではあまり紹介されることの少ない都市に暮らす現代モンゴル人たちの文化や社会も扱っていききたい。

まずは、日本の農村型社会とは全く性質を異にする「遊牧」という生業について概観する。そうした上で、近年の都市化や急速な経済発展の中で揺れ動く遊牧社会の現状も考察する。実は、モンゴル国は人口の約半分（140万人）が首都ウランバートルに集中している。こうした都市社会の実像を知るために、ロックやHipHopといった現代のポピュラー音楽や、都市に蔓延するシャーマニズムを切り口に現代モンゴル社会の持つ諸問題を考察していく。写真や音楽といった資料を多くつかって、立体的に現代モンゴル像を描き出す。

到達目標

- (1)遊牧という文化や現代モンゴル社会に関する基礎的な知識がみにつく。
- (2)モンゴル文化を見つめることで日本の文化を相対化して見つめなおすことができる。
- (3)現代モンゴル社会が抱える諸問題に対して、世界情勢と関連付けながら、批判的に検討する能力が身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式の試験を課す。以下のような基準で採点する。 回答が論理的であるか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

講義のあとで、レジュメのみならず、教科書の関連部分や参考文献は、各自、図書館で探した上で読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代モンゴルを知るための50章	小長谷有紀・前川愛	明石書店	9784750340432
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	増殖するシャーマン モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ	島村一平	春風社	9784861102998
2	草原と鉱石 モンゴル・チベットにおける資源開発と環境問題	棚瀬慈郎・島村一平	明石書店	9784750341682
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

世界史に関する基礎知識があることが望ましい

履修資格

講義名	アジア文化論D					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137WOC108						

授業概要

インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。

到達目標

- (1) 仏教の基本的な概念と考え方についての知識。
- (2) 仏教の歴史的な展開に関する知識。
- (3) 内陸アジアにおいて、仏教が果たしてきた役割に関する知識。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	講義内容について十分な理解を得ているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論D				担当教員	棚瀬 慈郎	
講義コード	1400064	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC108						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	インド社会の特徴	インドの身分制度について
第2回	インド社会の特徴	インドの身分制度と結婚、差別について。
第3回	バラモン教	仏教以前のインド思想史
第4回	仏教の誕生	ダンマパダとスッタニパータ：初期経典について
第5回	初期仏教から大乘仏教へ	インドの石窟寺院について
第6回	中観思想	大乘仏教の基本概念と中観思想
第7回	唯識・密教	唯識思想、本覚思想、密教の基本的考え方
第8回	チベットへの仏教伝来	吐蕃王国による仏教の国教化
第9回	仏教教団の成立	四大宗派の成立
第10回	ゲルク派の隆盛	ツォンカバによる仏教改革とダライラマ政権の誕生
第11回	帝国主義とチベット(1)	チベット近代史
第12回	帝国主義とチベット(2)	チベット近代史
第13回	中央アジアにおけるチベット仏教(1)	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開
第14回	中央アジアにおけるチベット仏教(2)	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開
第15回	中央アジアにおけるチベット仏教(3)	内陸アジアにおけるチベット仏教の展開

担当者から一言

講義名	異文化交流史				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1400071	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	337MUS206						

授業概要

この講義では、アジアにおける人と物の交流がどのようなパターンで行われてきたのかを中国とモンゴル、中国と満洲との関係から立体的に捉えていきたい。常に現代に着目して、歴史と今日との間に行き来することによって立体的な多民族、多文化地域社会の姿を描き出したい。

到達目標

万里の長城と柳条辺を挟んだ中国大陸における人と物の交流を歴史的視点から理解できることを目指す。多民族、多文化が交錯する該当地域における複雑な現状に関してもある程度の視点を持てるようにしたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	移民社会論 A				担当教員	窪田 暁	
講義コード	1400072	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337MUS203						

授業概要

現代世界の特徴のひとつに国境を越える人の移動があげられる。そのほとんどが労働移民とよばれる人びとだが、彼らはなぜ移民となり、移民先でどのように暮らしているのだろうか。
この授業ではまず、移民の発生要因を世界経済の構造、移民の社会的ネットワーク、移民個人という三つのレベルから捉えることを目標とする。次に、アメリカのドミニカ系移民や日本国内の移民を事例に、移民が本国の文化を移住先にもちこんで生活世界を構築している現状について検討する。また、移民の言語使用の実態から浮かびあがるホスト社会の移民への対応をアメリカ、フランス、日本の事例を中心に考察する。とくに、ここ数年で顕在化するようになった移民をめぐる具体的な問題（テロ事件、差別、移民のこどもたちの言語習得等）を事例として、移民を受け入れるホスト社会のありかたについて検討していきたい。
こうした作業を通して、世界中で進行するグローバル化がもたらす問題を発見し、自分たちが生きている社会や文化について理解を深めることをめざす。

到達目標

- (1) グローバル化の影響で増加する移民の発生要因についての基本的な知識を獲得する。
- (2) 移民の日常的な実践について学び、ホスト社会や故郷の人びとに与える影響について考える能力を身につける。
- (3) 文化的背景の異なる移民について学ぶことで、自分たちが生きている社会や文化の価値観を相対化して眺める視点を獲得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	すべての授業内容の理解度を確認する。
レポート課題	40%	到達目標で掲げた (1) グローバル化の影響で増加する移民の発生要因についての基本的な知識を獲得する。 (2) 移民の日常的な実践について学び、ホスト社会や故郷の人びとに与える影響について考える能力を身につける。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『国際移民の時代（第4版）』	S. カースルズ& M.J. ミラー	名古屋大学出版会	978-4-8158-0655-2
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	移民社会論 A					担当教員	窪田 暁
講義コード	1400072	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337MUS203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	グローバル化が進行するなかで、今後ますます増加する移民とどのようにむきあうべきか、ここではまず世界的な移民の概要を把握する。
第2回	移民とはどのような人びと	歴史的な経緯と現代世界のグローバルな状況を概観し、そのなかに移民を位置づけることである。つぎに、ここでは、移民を受け入れる国家は移民をどのようにあつかっているのかについて、西欧諸国
第3回	国際移民の発生要因 - 世界経済システム	現在の国際労働移民の背景には19世紀までに確立された近代の国民国家が大きく関わっており、国民を保護するために存在する諸制度が「他者」としての移民を排除する要因にもなっていることについて考える。
第4回	国際移民の発生要因 - 社会的ネットワーク	「なぜ特定の地域から多くの移民が発生し、特定の地域に多くの移民が集中するのか」という問いについて考える。
第5回	国際移民の発生要因 - 個人の意思決定	ここでは、移民個々の移住要因に注目し、なにが個人の意思決定に影響をおよぼしているのかについて、具体的な事例から検討する。
第6回	移民の日常生活 - トランスナショナル・コミュニティ	今回は、実際に移民が移住先でどのような生活を送っているのかについて見ていきたい。移民という国境を越えて移動する人びとについて考える際に、既存の国民国家の枠組みでは理解できないことを
第7回	移民の日常生活 - 移民の文化的実践	今回の授業では、移民が移住先にもちこむ出身社会の文化がどのように維持され、またそれがいかに変化しているのかについてみていきたい。
第8回	移民の日常生活 - 送金と一時帰国	今回の授業では、移民と出身社会の関係を送金と一時帰国に注目して考えてみたい。本国の文化を実践することが、移住先でいきぬく支えになると同時に、アイデンティティを確認するために重要な役
第9回	移民送り出し社会の変容	前回にひきつづき、移民と出身社会との関係について考える。
第10回	多民族社会としての日本：歴史と現状	今回の授業では、日本における移民についてみていきたい。その際、前提として日本は歴史的に多民族社会であったという点を確認しておきたい。そのために、まず日本への移民についての歴史をふり
第11回	日本の移民コミュニティ：中南米、アジアからの移民	今回の授業では、日本の移民コミュニティをとりあげ、国内の移民コミュニティの特徴、日本に特有の移民をめぐる問題について考えていきたい。その際、移民と言語問題について多言語社会とい
第12回	日本の移民コミュニティと移民言語	今回の授業では、前回の授業で検討した移民と言語についてより具体的に検討する。とくに、移民の子どもたちにとっての母語がどのような機能を
第13回	フランスにおける移民「問題」 - 移民の包摂と排除	2015年にパリで発生したイスラム教徒によるテロ事件を手がかりにして、ホスト社会による移民の包摂と排除について、国家統合の理念と異文化理解のジレンマを検討する。
第14回	フランスにおける移民「問題」 - フランスの公立学校 -	前回に引き続き、移民の包摂と排除について考察する。今回はとくにフランスの公立学校における移民の子弟の実態を事例にとりあげる。
第15回	まとめ	今回の授業では、この授業で学んだことを振り返りながら、移民をとおして浮かびあがる現代世界とはどんなものなのかについて考えてみたい。

担当者から一言

講義名	移民社会論 C				担当教員	Borjigin Burensain / 河 かおる	
講義コード	1400074	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337MUS205						

授業概要

日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をめきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満州、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどについて、概要とともに、いくつかの地域を取り上げて具体的に学ぶ。

到達目標

- (1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。
- (2)授業で扱う具体的な地域への移民について、その特徴を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	【期末課題】プレゼンテーション、レポート
上記以外	60	講義で出される複数の課題

授業外学習

課題レポート

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	海を渡った日本人	岡部牧夫	山川出版社	978-4634545601
2				
3				

講義内容に関連する文献リストを授業で配付する

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	移民社会論 C					担当教員	Borjigin Burensain / 河 かおる
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337MUS205						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	日本人の海外移民について
第2回	近代日本人移民のはじまり	ハワイ移民
第3回	からゆきさん	
第4回	植民地への移民	台湾、朝鮮、樺太
第5回	アメリカ・メキシコ移民の発展と排日	
第6回	滋賀県からカナダへの移民(1)	映画「バンクーバーの朝日」上映
第7回	滋賀県からカナダへの移民(2)	
第8回	南米移民(1)	
第9回	南米移民(2)	
第10回	フィリピン移民	
第11回	満州移民(1)	
第12回	満州移民(2)	
第13回	満州移民の引揚と戦後	
第14回	戦後移民と日系社会の発展	
第15回	まとめ	
第16回	期末プレゼンテーション(1)	
第17回	期末プレゼンテーション(2)	
担当者から一言		

講義名	イングリッシュレクチャーA				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400081	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the 'systems' and 'skills' that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャー B					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400082	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

On this course we will explore the past, present and future of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Participation: 30% Weekly quizzes: 35%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーC					担当教員	小熊 猛
講義コード	1400083	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

This series of lectures aims to overview some basic notions of Cognitive Linguistics and to provide opportunities to realize that linguistic meaning is identified with conceptualization. Each lecture is designed to demonstrate a semantic contrast between seemingly paraphrasable expressions, with a special reference to both English and Japanese.

到達目標

- (1) To appreciate and enjoy intellectual thinking
- (2) To foster objective observation as well as subjective insight

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Final report:50% ((2)50%)
レポート課題		
上記以外	50	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) Tests and reports:30% ((2)30%)

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャーD					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400084	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

This is an introduction course of history of U.S. American immigrants. The purpose of this course is to learn from the history of U.S. immigrants and to broaden viewpoints to understand American society in English. By developing knowledge about the background of U.S. immigrants, you will examine the experiences of the immigrants. At the same time, by connecting the history with the present situation, you will find out the relevance to the current issues of the US and other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about U.S. immigrants and to positively participate in pair and group activities.

到達目標

- (1) To carefully listen to each lecture and take notes on 1 topic or more in English
- (2) To understand the main point of each lecture and summarize it in 1 English paragraph or more
- (3) To explain a relevant case and describe your finding in 1 English paragraph or more
- (4) To deeply think about each lecture and express your own opinion in English for 3 minutes or more
- (5) To research in English about 1 topic or more

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Individual Oral Examination (conducted in Class #15) 20% Evaluation of Goal #1 (2) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #2 (3) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #3

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance. It will allow you to check some vocabulary, grammar, and sentence structure.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	イングリッシュレクチャー E					担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400085	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes.

到達目標

To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The regular exam held at the end of the semester will account for 60% of the grade.
上記以外		

Students who abstain from class more than three time will not be considered for evaluation.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Cradle to cradle	William McDonough and Michael Braungart	North Point Press, New York	978-0-86547-587-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sustainable by Design: explorations in theory and practise	Stuart Walker	Earthscan, United Kingdom	9-781-84407-305-4
2	An inconvenient truth	Al Gore	Rodale, New York	978-1-59486-567-1
3				

前提学力等

Ability to read, write and speak English

履修資格

講義名	English Lecture A				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400091	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137LAC101						

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the 'systems' and 'skills' that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture B					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400092	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC204						

授業概要

On this course we will explore the past, present and future of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Final test: 35%
レポート課題		
上記以外	65	Participation: 30% Weekly quizzes: 35%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture B				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400092	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237LAC204						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation The history of English in 30	
第2回	Early history: Romans and Celts	
第3回	Anglo-Saxons & Old English	
第4回	The Vikings & Old English	
第5回	Norman French and the beginning of Middle English	
第6回	The decline of French influence	
第7回	Great writers	
第8回	Standardisation of English	
第9回	American English I	
第10回	American English II	
第11回	Global Englishes I	
第12回	Global Englishes II	
第13回	Modern English	
第14回	Review	
第15回	Final test Course feedback	

担当者から一言

講義名	English Lecture C					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400093	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC205						

授業概要

This is an introduction course of history of U.S. American immigrants. The purpose of this course is to learn from the history of U.S. immigrants and to broaden viewpoints to understand American society in English. By developing knowledge about the background of U.S. immigrants, you will examine the experiences of the immigrants. At the same time, by connecting the history with the present situation, you will find out the relevance to the current issues of the US and other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about U.S. immigrants and to positively participate in pair and group activities.

到達目標

- (1) To carefully listen to each lecture and take notes on 1 topic or more in English
- (2) To understand the main point of each lecture and summarize it in 1 English paragraph or more
- (3) To explain a relevant case and describe your finding in 1 English paragraph or more
- (4) To deeply think about each lecture and express your own opinion in English for 3 minutes or more
- (5) To research in English about 1 topic or more

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Individual Oral Examination (conducted in Class #15) 20% Evaluation of Goal #1 (2) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #2 (3) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #3

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance. It will allow you to check some vocabulary, grammar, and sentence structure.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture D					担当教員	小熊 猛
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC206						

授業概要

This series of lectures aims to overview some basic notions of Cognitive Linguistics and to provide opportunities to realize that linguistic meaning is identified with conceptualization. Each lecture is designed to demonstrate a semantic contrast between seemingly paraphrasable expressions, with a special reference to both English and Japanese.

到達目標

- (1) To appreciate and enjoy intellectual thinking
- (2) To foster objective observation as well as subjective insight

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Final report:50% ((2)50%)
レポート課題		
上記以外	50	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) Tests and reports:30% ((2)30%)

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture D					担当教員	小熊 猛
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC206						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation and Introduction	Form and Meaning
第2回	Structural Ambiguity (1)	
第3回	Structural Ambiguity (2)	
第4回	Information Structure (1)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第5回	Information Structure (2)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第6回	Verb-framed vs. Satellite-framed Typology (1)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第7回	Verb-framed vs. Satellite-framed Typology (2)	Contrastive Behavior between Japanese and English
第8回	Benefactive Construction (1)	'V-teageru,' 'V-tekureru,' 'V-temorau'
第9回	Benefactive Construction (2)	'V-teageru,' 'V-tekureru,' 'V-temorau'
第10回	Japanese Relative Clause Construction (1)	A Type of Noun-Modification that English Disallows (e.g., Sanma=no yakeru nioi)
第11回	Japanese Relative Clause Construction (2)	Intriguing Case-particle Alternation (e.g., Boku={ga/no} katta hon)
第12回	Adversative Passive Construction (1)	
第13回	Adversative Passive Construction (2)	
第14回	Japanese Case-particle 'ga'	Japanese Case-particle 'ga' Referring Grammatical Objec
第15回	Versatility of Japanese Case-particle	
担当者から一言		

講義名	English Lecture E				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400095	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	337LAC212						

授業概要

The title of this course is "Environmental Ethics in Words and Deeds." The course introduces ideas and actual practices for living in a more environmentally sustainable manner. Course materials introduce traditional and contemporary approaches to environmentally friendly lifestyles, incorporating a cross-cultural perspective. Students become more familiar with attitudes and practices toward plants, animals, and natural environments in Japan, the United States, as well as other countries and cultures. As part of the coursework, students also innovate novel lifestyle approaches of their own. The course is centered on the question of how to live ethical, happy, and fulfilling lives in the accelerating environmental crisis.

到達目標

- (1) Students gain broader and deeper knowledge of the range of traditional and contemporary environmental practices and of how these can be adopted into their own lifestyles.
- (2) Students become more familiar with environmentally informed writing in various genres.
- (3) Students become more grounded in environmental ethics generally, in general, as well as more conscious of their individual codes of environmental ethics.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	Achievement of learning goal (3) is measured by quality of final research project (describing firsthand interaction with nature) report.
上記以外	70%	Achievement of learning goal (1) is measured by quality of a midterm paper on a sustainable lifestyle project (30%). Achievement of learning goal (2) is measured by quality of weekly in-class response papers on reading

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture F				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1400096	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	437LAC312						

授業概要

This is an introduction course of Peace and Conflict Studies. The purpose of this course is to learn about conflict, war, and peace and to broaden viewpoints to understand global issues towards peacebuilding in English. By developing knowledge about the background of international conflicts, you will explain the causes of the conflicts. At the same time, by looking at each problem from the global context, you will find out the relevance to the current issues in other parts of the world including Japan. In order to enhance mutual learning, you are required to actively research about international conflicts and to positively participate in pair and group activities.

到達目標

- (1) To carefully listen to each lecture and take notes on 1 topic or more in English
- (2) To understand the main point of each lecture and summarize it in 1 English paragraph or more
- (3) To explain a relevant case and describe your finding in 1 English paragraph or more
- (4) To deeply think about each lecture and express your own opinion in English for 3 minutes or more
- (5) You will be able to research in English about 1 topic or more

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) Individual Oral Examination (conducted in Class #15) 20% Evaluation of Goal #1 (2) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #2 (3) Mini-exam (conducted in classes) 20% Evaluation of Goal #3

If you are late for a class and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment which helps you understand the lecture. You can study by yourself with online video (YouTube) in advance. It will allow you to check vocabulary, grammar, and sentence structure.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Why Do We Fight?	Niki Walker	OwlKids Books	978-1-926973-86-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture F					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400096	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	437LAC312						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Guidance	Orientation to the course
第2回	Introduction: What is Conflict?	Reading: pp. 6-9 Mini-exam
第3回	Why Do Conflicts Come Up?	Reading: pp. 10-21 Mini-exam
第4回	Case Study (Why Do Conflicts Come Up?)	No reading Mini-exam
第5回	Dividing Lines	Reading: pp. 22-37 Mini-exam
第6回	Case Study (Dividing Lines)	No reading Mini-exam
第7回	Cooperation or Combat?	Reading: pp.38-55 Mini-exam
第8回	Case Study (Cooperation or Combat?)	No reading Mini-exam
第9回	Workshop: Conflict Transformation	Experiential learning about communication techniques for conflict transforamtion
第10回	Making Peace	Reading: pp.56-63 Mini-exam
第11回	Case Study (Making Peace)	No reading Mini-exam
第12回	Making Sense of Conflicts	Reading: pp. 64-73 Mini-exam
第13回	Case Study (Making Sense of Conflicts)	No reading Mini-exam
第14回	Conclusion: What Do You Think?	Reading: pp.74-75 Mini-exam
第15回	Wrap-up	Individual oral examination and group presentaion

担当者から一言

講義名	English Lecture G					担当教員	Balachandran Jeyadevan
講義コード	1400097	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	437LAC313						

授業概要

In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes.

到達目標

To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The regular exam held at the end of the semester will account for 60% of the grade.
上記以外		

Students who abstain from class more than three time will not be considered for evaluation.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Cradle to cradle	William McDonough and Michael Braungart	North Point Press, New York	978-0-86547-587-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Sustainable by Design: explorations in theory and practise	Stuart Walker	Earthscan, United Kingdom	9-781-84407-305-4
2	An inconvenient truth	Al Gore	Rodale, New York	978-1-59486-567-1
3				

前提学力等

Ability to read, write and speak English

履修資格

講義名	英語音声学				担当教員	小熊 猛 / Walter Klinger / John Rippey / Martin Hawkes	
講義コード	1400101	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

国際音標文字 (IPA) を学び、英語音声学の基礎知識を解説しながら発音に関する練習問題をこなします。後半の7つの授業では、英語ネイティブ教員によるより実践的な音声学演習を行う。

到達目標

- (1) 英語の発音記号 (国際音標文字) が理解できる。
- (2) 調音器官、調音位置、有声・無声ほかの調音メカニズムが理解できる。
- (3) 単語レベルでの正確な発音 (母音、子音、アクセント位置ほか) を意識できる。
- (4) 句レベル・文レベルでの音の変化 (reduction ほか) を意識できる。
- (5) 文レベルでの適切なイントネーション、リズムを意識できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	中間試験 (第8週実施予定) : 30% (1)および(2)20% (3)(4)(5) 10% 期末試験 (実技試験) : 30% (3)10% (4)10% (5) 10%
レポート課題	20	音声学に関する英文和訳 (英文 8 ページ程度) 第 3 週提出予定
上記以外	20	課題音読個確認別テスト : 20% (3)20%

- 以下に該当するものは認定評価対象としない。
 (1) 4回以上欠席したもの (なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席字数としてカウントする。)
 (2) 第 3 週提出予定の課題が提出されないもの

授業外学習

教科書および付属音声教材を用いて事前に十分な予習をすることが不可欠である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Discovering English Sounds	米坂スザンヌ、田中洋ほか	センゲージ ラーニング株式会社	978-4-86312-240-6
2				
3				

音読および内容理解口述試験にかかる課題英文資料(9ページ相当)は、2015年度「英語学概論」で使用した教科書を使用する。当該科目を履修して

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語学概論を受講していることが望ましい。

履修資格

講義名	英語音声学				担当教員	小熊 猛 / Walter Klinger / John Rippey / Martin Hawkes	
講義コード	1400101	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	担当 小熊 授業オリエンテーション
第2回	Chapter 1: Getting Started	担当 小熊 § 1 Sound & Spelling
第3回	Chapter 1: Getting Started	小熊 担当 § 3 Consonant & Vowels
第4回	Chapter 2: Consonants	小熊 担当 発音器官
第5回	Chapter 2: Consonants	小熊 担当 子音の調音方法 (調音位置ほか)
第6回	Chapter 3: Vowels	小熊 担当 英語の基本母音
第7回	Chapter 3: Vowels	小熊 担当 英語の基本母音
第8回	中間確認試験	『First Steps in English Linguistics 英語言語学の第一歩 Chapter 9』の個別音読試験
第9回	Chapter 4: Grouping Sounds	担当 Walter Klinger 適宜、追加教材を配布予定
第10回	Chapter 4: Grouping Sounds	担当 Walter Klinger 適宜、追加教材を配布予定
第11回	Chapter 5: Words	担当 Martin Hawkes 適宜、追加教材を配布予定
第12回	Chapter 5: Words	担当 Martin Hawkes 適宜、追加教材を配布予定
第13回	Chapter 6: Sentences	担当 John Rippey 適宜、追加教材を配布予定
第14回	Chapter 6: Sentences	担当 John Rippey 適宜、追加教材を配布予定
第15回	総括および発音実践テスト	担当 John Rippey, Walter Klinger, Martin Hawkes, 個別発音演習と評価

担当者から一言

英語学の低位領域である音声学の基礎的知識（国際音標記号(IPA)、調音器官、調音位置、有声・無声、調音方法など）を身につけること目指すため、覚えるべき内容もかなり多い。複数回の確認テスト、中間試験を課す。加えて、音声学の基礎についての英文9ページ程度のリーディングアサ

講義名	英語学概論					担当教員	小熊 猛
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137ENG203						

授業概要

まずはじめに英語音声学の基礎を紹介し、次の英語史を概観する。その後に英語学の下位領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論の4領域を中心に基礎的な知識を身につける。
英語表現の構造理解に必要な基本的な知識を身につけ、英文を客観的に考察する力を身につけることを目指す。これに加え、英語で書かれた教科書を使用することで、論理的議論の展開を理解できる英文読解力も併せて養うことを目指す。

到達目標

- (1) 形態論、統語論、意味論、語用論の4領域の区別とそれぞれの領域の基本的知識を理解する。
- (2) 構成素と言語の階層性を踏まえ構造的な多義性の生じるメカニズムを理解する。
- (3) 概念的意味と連想的意味の区別を理解し、分析的にことばの意味理解ができる。
- (4) メタファーおよびメトニミーという概念を踏まえて多義性および意味のネットワークを理解する。
- (5) 間接発話行為および会話の協調原則などを踏まえた意味理解ができる。
- (6) 英文による論理的議論が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	それぞれ到達目標については以下のように配分で評価する。 (1)10%, (2),10%, (3)10%, (4)10%, (5),10%
レポート課題		
上記以外	50	毎回の講義箇所の予習(専門的語彙の確認および概要のまとめ)(30%)および確認小テスト課題(20%)を評価する。到達目標については以下のような配分で評価する。 (1)5%, (2),5%, (3)5%, (4)5%, (5)5%, (6)20%

4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントするものとする。

授業外学習

英語学という専門的科目を英文で書かれたテキストを利用して学習する科目である。理論的、抽象的レベルでの思考が求められるため、入念な予習は不可欠である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	First Steps in English Linguistics 2nd Edition 英語言語学の第一歩	影山太郎ほか(編)	くろしお出版	978-487424-277-3 C3082
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

専門的内容を英語で書かれた教科書で学習するため、英文の基本構造を十分理解している必要がある。

履修資格

講義名	英語学概論				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400102	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137ENG203						

授業計画						
------	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Ch.1:English linguistics	授業オリエンテーション 英語学(英語言語学)とは
第2回	Ch.9: The Sound of English	Phonetics and Phonology 音声器官・調音点ほか
第3回	Ch.2: The History of English	How English has Changed over the Centuries
第4回	Ch.2: The History of English	How English has Changed over the Centuries
第5回	Ch.3: Morphology	How Words Are Made: Morphology
第6回	Ch.3: Morphology	How Words Are Made: Morphology
第7回	Ch.4: Semantics 1	How Words Mean: Semantics 1
第8回	Ch.4: Semantics 1	How Words Mean: Semantics 1
第9回	Ch.5: Syntax 1	How Phrases Are Formed: Syntax 1
第10回	Ch.5: Syntax 1	How Phrases Are Formed: Syntax 1
第11回	Ch.6: Syntax 2	How Sentences Are Formed: Syntax 2
第12回	Ch.7: Semantics 2	How Sentences Mean: Semantics 2
第13回	Ch.7: Semantics 2	How Sentences Mean: Semantics 2
第14回	Ch.8: Pragmatics	How to Communicate with Other people: Pragmatics
第15回	Ch.8: Pragmatics	How to Communicate with Other people: Pragmatics

担当者から一言						
---------	--	--	--	--	--	--

高等学校までに学習した学校文法の延長ないしは、より高度な語法学習といった運用能力を高める内容ではなく、英語という言葉をどのように分析するかという「ことばの研究」を概観する科目です。

講義名	英語文献講読 A					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	3371LA207						

授業概要

Kate Foxの“Watching the English”を読み、文化人類学の手法、基本的なタームについて学ぶ。

到達目標

- (1) 文化人類学の考え方、基本的なタームに関する知識。
(2) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳することができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Watching the English	Kate Fox	Hodder & Stoughton	978 1 444 78520 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読 B					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	3371LA208						

授業概要

Kate Foxの“Watching the English”を読み、文化人類学の手法、基本的なタームについて学ぶ。

到達目標

- (1) 文化人類学の考え方、基本的なタームに関する知識。
(2) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳することができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Watching the English	Kate Fox	Hodder & Stoughton	978 1 444 78520 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読 B				担当教員	棚瀬 慈郎	
講義コード	1400104	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	3371LA208						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第2回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第3回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第4回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第5回	Humour Rules	当該部分の購読と解説
第6回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第7回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第8回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第9回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第10回	Linguistic Class Codes	当該部分の購読と解説
第11回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第12回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第13回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第14回	Pub-talk	当該部分の購読と解説
第15回	Pub-talk	当該部分の購読と解説

担当者から一言

講義名	英米文学概論					担当教員	山本 薫
講義コード	1400107	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC207						

授業概要

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。今日のグローバルな言語である英語と英語社会の背後にあるアングロ・アメリカンの思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。また、英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。毎回の授業では、英米の代表的な文学作品を取り上げ、時代背景の中で作家・作品を位置づけ、映画化された作品も用いながら理解を深める。授業は原典からの抜粋を用いて進めるが、受講生は翻訳でもかまわないので取り上げる作品は読んでおくことが望ましい。

到達目標

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。今日のグローバルな言語である英語と英語社会の背後にあるアングロ・アメリカンの思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。また、英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	授業で取り上げた文学作品を最低2点選び、その感想文を提出すること。その他、映画やドラマについての感想文は、内容と提出数に応じて加点する。
上記以外	60	授業ノートは最終授業後集める。授業内容を把握し、自分独自のノートが作成できているかを評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数に合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。

授業外学習

できる限り原典を原書あるいは翻訳で読むこと。時代の雰囲気や背景を理解する、つまり異文化理解のためにも映画化・ドラマ化されたものもなるべく観ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なテキストはすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英米文学講読				担当教員	山本 薫	
講義コード	1400108	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337LAC211						

授業概要

この授業では、スーダンの作家、タイブ・サーレフ(Tayeb Salih, 1929-)によるポストコロニアル小説の古典、『北へ遷りゆく時』(Season of Migration to the North)(1966)を精読し、作品が随所で喚起する、北(ヨーロッパ[イギリス])と南(アラブ[スーダン])、支配・被支配、旧宗主国・植民地、大都会ロンドン)スーダンの田舎、異郷・故郷、「外国人」・「同国人」といった対立を巡る問題について考える。受講者が、英語の正確な読みに基づき、自らテーマを決め、現代の国際社会が抱える問題を浮き彫りにするような議論ができるようになることを目指す。

到達目標

- (1) まとまった量の英文を正確に読みこなす。
- (2) 作品の歴史的背景を理解する。
- (3) 上記の読みと理解に基づき、自分の考えをまとめ、発表する。
- (4) 議論を通じて、現代の国際社会が抱える問題を浮き彫りにする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	各自の読みと授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 (1) どれだけ正確に作品が読めているか (2) テーマ設定がどれだけユニークか
上記以外	60	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

本授業のテキストはアラビアから英語への翻訳で、英語としてはそれほど複雑ではない。予習は、まとまった量の英語をある程度の速度で読みこなす習慣をつけ、維持する練習である。受講者はテキストを読んだうえで各自問題点を発表、議論を行う。予習なしに受講はできない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Season of Migration to the North	Tayeb Salih		
2				
3				

初回はプリント配布。その他テキストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	北へ遷りゆく時 ; ゼ-ンの結婚	アッ=タイブ・サーレフ	河出書房新社,	430960188X
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英米文学講読					担当教員	山本 薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	337LAC211						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	作者タイプ・サーレフについて説明する。ヨーロッパとアラブ、アフリカを巡る作品の歴史的背景を概観し、毎回の進捗と発表者を定める。
第2回	「私」の帰郷	発表と議論
第3回	謎の男	発表と議論
第4回	謎の男の告白	発表と議論
第5回	謎の男のイギリス留学経験	発表と議論
第6回	イギリスの経済学者として	発表と議論
第7回	謎の男のイギリス人女性との恋と結婚	発表と議論
第8回	妻殺害	発表と議論
第9回	裁き	発表と議論
第10回	謎の男のスーダンへの帰郷	発表と議論
第11回	大洪水	発表と議論
第12回	未亡人の再婚	発表と議論
第13回	村の悲劇	発表と議論
第14回	問題群の整理	グループに分かれてこれまで出た問題群を整理し、討論。
第15回	まとめ	これまでの議論の内容をもとに、エッセイを作成する際のポイントを解説。

担当者から一言

講義名	欧米文化特論 A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1400221	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC209						

授業概要

欧米文化論Aが現代のドイツ文化を広く取り扱うのに対して、欧米文化特論Aはドイツ語の歴史の変遷をたどることでドイツ文化についての理解を深めることをねらいとしている。主としてドイツ語史、ドイツ文化史、ドイツ文学史、メディア学の観点からドイツの言語・文化・社会がどのように変化したかを概観し、技術の進歩や社会の変化が言語にどのような影響を与えてきたのかについて考える。また文化の担い手が交代してきたことや文化の中心地が移動したことがドイツ語の標準語の成立に果たした役割についても言及する。

到達目標

ドイツ語の歴史についての素養を身につける。また習得した知識に基づいて情報収集を行い、自分の考えをより正確にまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

最初の授業で参考文献リストを配布するので、興味のあるテーマを見つけて、それらの関連図書を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総論ドイツ語の歴史	ヴィルヘルム・シュミット著 / 西本美彦 他訳	朝日出版社	978-4255002699
2	ドイツ文学案内	手塚富雄 / 神品芳夫	岩波書店	978-4003500033
3	物語ドイツの歴史	阿部謹也	中央公論社	978-4121014207

参考図書リストは授業中に配布する。

前提学力等

ドイツ語やドイツ史に関する基礎知識があり、それらの分野に対する関心があることが望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化特論 B				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1400222	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC210						

授業概要

近代フランスにおける「美食」言説の成立を主題とした、原文読解にもとづく講義である。今日、フランスがその高度な食文化を誇る背景として、食を様々な角度から語る「ことば」の豊富さが不可欠の要素として挙げられる。授業では当時の言説を読み解きつつ、それに関する重要な先行研究も参照し、著者らと「ともに考える」経験を積む。これを通じ、近代フランスに限らず、より広く「食べること」について考えるための視点を養う。なお、授業ではフランス語原文による一次/二次資料を用いるため、一定以上のフランス語運用能力が不可欠である。これをよく理解した上で受講すること（【前提学力】欄を参考）。

到達目標

- (1) フランス近代の美食文化の歴史について知識を得る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。
- (4) 中～上級のフランス語運用能力を身につけ、様々な原文テキストを理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標で示す(2)(3)については期末レポートで判断する。
上記以外	60	(1)(4)については、毎回の授業での授業参加度・予習復習の状況を見て判断する。

4回以上の欠席は、自動的に不合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	美食家の誕生	橋本周子	名古屋大学出版会	
2				
3				

前提学力等

フランス留学を経験していることが望ましい。
中級フランス語（フランス語コミュニケーションIIA, IIB, フランス語留学対策）をすべて修めていること。

履修資格

講義名	欧米文化特論 B				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1400222	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC210						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業で扱う資料や全体の進行などについて説明を行う。
第2回	食の記憶 1	
第3回	食の記憶 2	
第4回	食の記憶 3	
第5回	食の記憶 4	
第6回	美食批評 1	
第7回	美食批評 2	
第8回	美食批評 3	
第9回	国家と食 1	
第10回	国家と食 2	
第11回	国家と食 3	
第12回	食の選択 1	
第13回	食の選択 2	
第14回	食の選択 3	
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	欧米文化特論C				担当教員	山本 薫	
講義コード	1400223	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC211						

授業概要

この授業では、まず、イギリスの経験論における認識論をヨーロッパ大陸の哲学における認識論と比較しながら理解し、「個人の自由」という概念についてあらためて考察する。その後、西欧の文学理論に影響を与え、その底流を形成している思想の中でも特に、脱構築以後の現代思想に焦点を絞り、従来の「(人間)主体」「国家主権」といった概念を超えた新たな共同体概念の可能性について考える。

到達目標

- (1) 現代ヨーロッパの思想の大きな流れを理解する。
- (2) 上記の理解を単なる知識で終わらせるのではなく、国際社会で実際に起こっているアクチュアルな問題とも結びつけて考え、独自の考えや視点を形成する。
- (3) 議論を通して自らの考えをさらに深め、他者とも共有する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	試験は論述問題のみで、ノートの持ち込み可です。授業中の板書及び議論内容をしっかりメモし、自分なりのノートをつくって試験に臨むこと。解答から、到達目標(1)現代ヨーロッパの思想の大きな流れを理解する(2)上記の理解を単なる知識で終わらせるのではなく、国際社会で実際に起こっているアクチュアルな問題とも結びつけて考え、独自の考え
レポート課題	10	以下の2点については試験問題の予行演習としてミニ・レポートを課し、自分なりの問題意識を持って取り組んでいるかをみる。
上記以外	50	授業中の議論への積極的な参加を評価する。

授業中の議論への積極的な参加(50%)・課題提出(10%)・試験(40%)

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない(遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点で試験を受ける資

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教材はすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化特論D				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400224	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337WOC212						

授業概要

This course surveys the history of the United States by exploring the historical experiences of four social groups: Native Americans, African Americans, laborers, and women. The course takes a cultural or people's history approach to the topic, focusing on the viewpoints of ordinary people and considering issues of ethnicity, race, class, and gender in American society. Students discuss readings and draw connections between historical phenomenon and contemporary events. Students write a research paper about a specific topic in American history of their own choice.

到達目標

- (1) Students broaden and deepen their knowledge and understanding of the history of the United States in general terms, and of the historical experiences of four groups of Americans (Native Americans, African Americans, working class Americans, and women) in particular.
(2) Students develop their ability to research, analyze, and interpret social and cultural issues for both historical significance and contemporary relevance, and to communicate their interpretations to others.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly, in-class response papers to reading assignments and discussion topics.
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final research paper (40%) and presentation on the research paper (10%).

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	A Young People's History of the United States: Columbus to the War on Terror	Howard Zinn, adapted by Rebecca Stefoff	Seven Stories Press	978-1583228692
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1400225	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137WOC101						

授業概要

歴史、社会問題、環境政策、芸術運動などをテーマに取り上げてヨーロッパの一員であるドイツをさまざまな角度から考察する。その際、ただドイツ文化の知識を得るばかりではなく、ものの見方を身につける練習をする。

到達目標

ドイツ語の文化圏について幅広い知識を身につける。文化をさまざまな視点から観察する力を身につけるとともに、授業で得た知識をもとに情報を収集し、自分の考えをまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

興味のあるテーマを見つけて、積極的にその関連図書を参照して理解を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新ドイツの街角から - ドイツ文化事情 -	高橋憲	郁文堂	978-4261012408
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1400225	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137WOC101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ヨーロッパにおけるドイツ	ヨーロッパ、EU、ユーロ圏
第2回	食文化	伝統 vs グローバル化 (1)
第3回	マイスター制度	伝統 vs グローバル化 (2)
第4回	教育制度 & ボランティア制度	伝統 vs グローバル化 (3)
第5回	環境政策・環境教育 (1)	未来に向けての取り組み (1)
第6回	環境政策・環境教育 (2)	未来に向けての取り組み (2)
第7回	歴史教育・歴史認識	過去の克服
第8回	東西ドイツの分断と再統一 (1)	二つのドイツ (1)
第9回	東西ドイツの分断と再統一 (2)	二つのドイツ (2)
第10回	移民と社会統合	少子高齢化と労働力
第11回	選挙制度	選挙が実生活に及ぼす影響
第12回	祭事	伝統
第13回	デザイン	伝統と革新
第14回	まとめ (1)	ミニ報告 (1)
第15回	まとめ (2)	ミニ報告 (2)

担当者から一言

ただ授業を聞くだけでなく、授業で得た情報をもとにして、さらに自分で文献にあたって内容を深めてください。

講義名	欧米文化論 B				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1400226	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC102						

授業概要

フランス文化の代表的な側面について、主に以下三つを軸として講義します。
 1：パリやいくつかの地方など、フランスの代表的な風景について知るとともに、より深い視点からそうした風景を「考える」ことを体感してもらいます。
 2：「民主主義」など、フランス革命以降現在に至るまで、フランスにおいて最も重要となっている原則について、（年代順別の政治的イベントの羅列を通じてというよりは）食をめぐる具体的な事例を通じて学びます。
 3：具体的な事象そのものとは別に、「イメージ」のなかでフランスはどのように捉えられてきたかを考察します。
 なお、講義の後半では、ミニ発表を予定しています。発表のテーマについては講義で扱うものに限定しません（そのため、第2回では、様々なテーマについて紹介します）。授業を通じ、それぞれが選んだテーマを自分たちなりに調べ、考えることを求めます。

到達目標

- (1) フランス文化の代表的な側面に関して知識を得る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標で示す(1)(2)については期末レポート(50%)
上記以外	50	(2)についてはミニ発表(50%)

ミニ発表については、受講人数に応じて発表時間の設定は変動するが、およそ10分～15分を予定している。発表資料を作成し、授業時間を用いて発表をしてもらう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回プリント配布。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 C				担当教員	山本 薫	
講義コード	1400227	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC103						

授業概要

この授業では、19世紀的未以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら議論し、理解することを目指す。必要に応じて、映画化された英国小説もあわせて用い、映像を通して理解を深める。

到達目標

- (1) 19世紀的未以降の英国の小説・映画の中で描かれる英国文化の（授業計画で挙げた）さまざまな側面についての議論を通して、「英国人気質」(Britishness)について理解する。
- (2) (1)で考察した英国文化の諸側面を、ヨーロッパ大陸の文化と比較しながら相対化しつつ理解を深める。
- (3) 「英国人気質」(Britishness)考察を通して異文化理解、また自国文化の理解についてそれぞれ独自の考えを構築する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	試験は英国文化に関する論述問題のみで、ノートの持ち込み可。授業中の板書及び授業内の議論内容をしっかりメモし、自分なりのノートをつくって試験に臨むこと。自分なりの英国文化理解ができているかを評価する。
レポート課題	20	授業中にあげた小説や映画についてのエッセーを提出数と内容に応じて評価する。
上記以外	50	授業中の議論への積極的な参加を評価する。

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数に合わせて4回に達した時点で試験を受ける資格を失う）。

授業外学習

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んだりみたりすることを勧める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストはすべてプリントして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論C				担当教員	山本 薫	
講義コード	1400227	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137WOC103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	授業の進め方とノートの取り方、レポート課題の要点について説明。
第2回	'Britishness'について	『日の名残り』を見ながら、イメージの「英国的気質」について考える。
第3回	ヨーロッパ大陸との比較	ジョージ・オーウェルの英国論をたよりに、「英国的気質」を知り、大陸的な文化というコンテキストで理解する
第4回	Multicultural Britain	映画『ロンドン・リバー』を見ながら移民問題について考える。
第5回	Languages, dialects	例えば映画『リトルダンサー(ピリー・エリオット)』、
第6回	Homes, gardens and the countryside	ガーデニングの文化的考察
第7回	Art: Music	ビートルズ、ローリング・ストーン、デヴィッド・ボウイ、コールド・プレイ、プラー、ワン・ダイレクションを概観する。
第8回	Art: Fashionその他	ヨーロッパとの比較において、英国のファッションや絵画を概観する。
第9回	Food	英国の食文化の歴史の変遷を辿り、悪名高い英国料理の実際を知る。
第10回	Fantasy	『ハリー・ポッター』『シャーロック・ホームズ』に見る英国的想像力を考える。
第11回	Sports	サッカー、ラグビー、テニスに見る階級
第12回	Politics and government	英国の保守と革新について
第13回	Social Class	映画『この自由な世界で』を見ながら今のロンドンにおける労働者事情と移民問題を考える。
第14回	田舎と都会	英国を舞台とする多くの映画や文学作品にみられる田舎と都会の対比を概観する。
第15回	'Britishness'とまとめ	対仏戦争を通して形成されてきた英国(人)のアイデンティティについて

担当者から一言

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んでみたりすることを勧める。

講義名	欧米文化論D					担当教員	谷口 真紀
講義コード	1400228	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	137WOC104						

授業概要

この科目の目的はアメリカの黒人の歴史を学ぶことによって現在のアメリカ社会の問題を見極め展望を見通す視野を養うことです。アメリカ黒人の歴史についての見識を広げる受信力と、その知識をもとにアメリカ社会の問題を考え問題提起する発信力の両方を磨きます。そのために欠かせないのがアメリカ黒人の歩みを自分自身に引きよせて問題意識を持って調べる力です。探究心を高め、得た知見を活かし、日本を含めた世界の他の地域の課題とアメリカ黒人の課題とを結びつけることを目指します。積極的に相互の学びを深めていくために、ペア・ワークやグループ・ワークを中心にした参加型の形態で授業を進めます。

到達目標

受信力：アメリカ黒人の歴史の一時代の経緯を一段落以上の日本語で記述できる。
 受信力：アメリカ黒人の歴史の一時代の意義を三分間以上日本語で説明できる。
 発信力：アメリカ黒人の歴史の一時代の根本問題のひとつを一段落以上の日本語で指摘できる。
 発信力：アメリカ黒人の歴史の一時代と現在のアメリカ社会の課題・展望を三分間以上日本語で発表できる。
 探究心：アメリカの黒人の課題と現在の国際社会の課題との結びつきのひとつを調べて一分間以上日本語で述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	理解テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 個別口頭試問(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 解釈テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象にしません。参加型の授業は遅刻や欠席によって自らとクラスメイトの学習の双方の効果を損なうからです。

授業外学習

毎回テキストを読み込んで内容をまとめてくることを授業出席の大前提とします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アメリカ黒人解放史	猿谷要	二玄社	978-4-544-05302-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	海外留学					担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年		
ナンバリング番号	237SAB201						

授業概要

世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるといふ点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自の体験についての自己省察を深めてゆくための働きかけをする。

到達目標

- (1) 留学先の大学で語学力を向上させる。
- (2) 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。
- (3) 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

留学帰国後、「海外留学単位認定申請書」に必要事項を記入し、ゼミ指導教員の確認印をもらい、CommunicationLoungeに提出する。トータルの滞在期間、ミニレポートの提出状況等を学科において総合的に判断し、概ね1か月1単位を目安として認定する単位数を学科で決定める。

授業外学習

留学中にレポート課題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

留学先大学が求める語学力をクリアしていること。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地蔵堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1400361	単位数	1	開講期			通年
ナンバリング番号	137BAC101-C						

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習。テーマごとに班編成をし、事前学習、現地でのフィールドワークをおこなう。最終プレゼンテーションでは、実習の成果を英語で発表する。

到達目標

- (1) 文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。
- (2) 地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。
- (3) 個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。
- (4) 調査結果を発表する能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への参加状況、議論への参加、最終的なプレゼンテーションの状況によって総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習 (国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かのる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地蔵堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1400421	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	237TUT101						

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
年度はじめの学科オリエンテーションにおいて詳しく説明する。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習 (国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地蔵堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1400422	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	237TUT102						

授業概要

原則として基礎演習 から継続して同じゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
海外留学中の学生も履修し、インターネット等を通じて指導を受ける。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地蔵堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1400611	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	437TUT305						

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かおる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1400612	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	437TUT306						

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	言語接触論				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1400632	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	337LAC209						

授業概要

基本的には、異文化が接触すれば、言語の接触も伴い、その結果として、外来語が生まれます。異文化の接触を地層調査に類似する考え方で通時的に調査することで、外来語の発生についてみるすることができます。とくに日中間の文化交流が多く、外来語の発生も多いです。それらの外来語の発生の様相、そして現在日中両言語のなかでどのように使われているかなどを講義します。

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 外来語に関連する基礎知識を習得すること
- (3) 日中ことばの交流に関連する知識を習得すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合によって判断します。
レポート課題	25%	授業態度、課題、出席などによって判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書を使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の際に説明します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと。

履修資格

講義名	現代英文法					担当教員	小熊 猛
講義コード	1400633	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237LAC203						

授業概要

英語圏への留学する学生にとって、高校で教わった学校文法（規範文法）のみでは不十分な部分が少なくない。この授業では現代の英語語法を『Practical English Usage』(Oxford)を用いて学習する。

到達目標

- (1) 類似した語彙・表現の意味的違いを理解できる。
- (2) 冠詞および名詞を正しく用いることができる。
- (3) 提示構文などの構文を正しく用いることができる。
- (4) 「情報構造」を理解できる。
- (5) 英文で書かれた英語語法説明を読み理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	学期末試験(1)-(5)
レポート課題		
上記以外	30%	授業内での口頭による試問（日本語和訳、内容確認ほか）(5)

4回以上欠席したものは評価対象としない。理由のない遅刻はその程度に拘わらず欠席としてカウントする。

授業外学習

事前に授業範囲を予習し、和訳およびその要旨を答えられるように準備すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Practical English Usage third edition	Michael Swan	Oxford	0-19-442-98-1
2				
3				

最新版のペーパーバック版Third Editionを使用する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

2回生以降の英語圏への留学学生を念頭においた授業のため、1年次での履修は原則的に認めない。

履修資格

講義名	現代英文法				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400633	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237LAC203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイドス articles	番号は使用テキスト内の項目番号 61-71
第2回	countable and uncountable	147-151
第3回	discoure markers	156-157
第4回	future	211-221
第5回	imperatives	267-269
第6回	infinitives(1)	279-292
第7回	infinitives(2)	279-292
第8回	a lot of / many / much	332-334(a lot of), 355-356(much and many)
第9回	past verb form with present or future meaning	426
第10回	say and tell see, look, and watch	504 505, 506
第11回	information structure	512
第12回	should / ought / must	518-521
第13回	subjunctive	567 572(supposed to)
第14回	there is	587
第15回	まとめ	

担当者から一言

かなり高額テキストであるが、高い評価を受けている書籍であり、留学先でも活用価値がある。
授業では、上記に示した項目を学習するが、自ら通読することで非常に多くのことを学ぶことができる。

講義名	英語学基礎				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400634	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137ENG101						

授業概要

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、講義およびディスカッションにはできるだけ英語を使用します。受講者は、割り当てられた担当部分の内容を分かりやすくまとめ、英語で発表することが求められます。それぞれの発表の後、発表者の理解に間違いはないか等ディスカッションを行います。

授業内容については、認知言語学にとまらずその他の多くの学問領域に影響を与えているMetaphors We Live By (George LakoffとMark Johnson 著)を原文で読みすすめ、メタファーのメカニズムを理解し、人の思考や概念化について考えます。

到達目標

- (1)メタファー、概念メタファー、写像などの基本概念を正しく理解できる。
- (2)古典的カテゴリー、プロトタイプカテゴリーなどの概念を正しく理解できる。
- (3)論理的な英文の内容を正確に読み取れる。
- (4)理解した内容を踏まえて英語で説明することができる。
- (5)英語で議論に参加できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(1):20% (2):20% (3):10%
上記以外	50	到達目標(3)(4):20% 読書課題(Reading Assignment)箇所のプレゼン 到達目標(5):30% プレゼン内容についての質疑応答・議論

4回以上欠席したものは評価対象としない。なお、特別な事情がないがぎり遅刻はすべて欠席としてカウントする。

授業外学習

徹底した予習を行い、読書指定箇所の内容を十分にお見込み理解しておくこと。プレゼン担当の場合は、必要に応じてパワーポイント、配布資料等を事前に準備し授業に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Metaphors We Live by	George Lakoff & Mark Johnson	Univ of Chicago	978-0226468013
2				
3				

ペーパーバック：アマゾン参考価格 ¥1970-

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	学びのエクササイズ 認知言語学	谷口一美	ひつじ書房	4-89476-282-X
2				
3				

2015年度「言語学概論」で教科書として使用

前提学力等

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、英語でのプレゼンおよびディスカッションが求められる。

履修資格

講義名	英語学基礎				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400634	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137ENG101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction Chapter 1	オリエンテーション Chapter 1 Concepts We Live By
第2回	Chapter 2 & 3	The Systematicity of Metaphorical Concepts Metaphorical Systematicity
第3回	Chapter 4	Orientational Metaphors
第4回	Chapter 5 & 6	Metaphor and Cultural Coherence Ontological Metaphors
第5回	Chapter 7 & 8	Personification Metonymy
第6回	Chapter 9	Challenges to Metaphorical Coherence
第7回	Chapter 10	Some Further Examples
第8回	Chapter 11 & 12	The Partial Nature of Metaphorical Structuring How Is Our Conceptual System Grounded?
第9回	Chapter 13	The Grounding of Structural Metaphors
第10回	Chapter 14	Causation: Partly Emergent and Partly Metaphorical
第11回	Chapter 15	The Coherent Structure of Experience
第12回	Chapter 16	Metaphorical Coherence
第13回	Chapter 17	Complex Coherences across Metaphors
第14回	Chapter 18	Some Consequences for Theories of Conceptual Structure
第15回	Chapter 19	Definition and Understanding

担当者から一言

日本語による解説といった講義形態をできるだけ避け、言語学・英語学の基礎をトピックに留学先で培った英語力を結局的に駆使してディスカッションする授業実践を目指す。なお、プレゼンテーションについては、正確な理解に基づいた文法的に的確な表現 (accuracy) を、ディスカッション

講義名	日本語教育基礎				担当教員	富川 和代	
講義コード	1400635	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137LAC102						

授業概要

- 1 日本語を外国語として見ることを学ぶ。
- 2 外国語としての日本語を教えるために必要な基礎知識を得る。
- 3 2の「基礎知識」をもとに、「模擬授業」をする。
- 4 自らの総合的な日本語の力と円滑なコミュニケーションをとる力を磨く。
- 5 ビアラーニングで、自律的に学習を深める。

到達目標

- 1 総合的な日本語の力と、コミュニケーションをとる力の進歩
- 2 基礎的な日本語指導法、教材教具などに関する知識を身につける。
- 3 自分の使っている日本語を常に内観し、客観的に見る習慣を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	日本語・日本語指導についての知識に関する筆記試験
レポート課題	30%	日本語に関するテーマでレポートを書く。
上記以外	30%	発表(日本語の模擬授業)

授業外学習

- 1 異文化理解・多文化共生について学ぶ
- 2 日本に住む外国出身者とその子どもの「日本語学習」の現状を知る。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	日本語教育基礎				担当教員	富川 和代	
講義コード	1400635	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137LAC102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	1 授業の進め方についての説明 2 総合的な日本語力をチェックし、自分の苦手な分野を把握し、今後の学習の予定を立てる。
第2回	日本語教育と国語教育	1 2者の共通点と相違点 2 日本語教育の特徴、留意点について理解する。
第3回	日本語の音声	1 音声・音韻 2 プロソディ
第4回	日本語の文字・表記	文字の種類と役割
第5回	日本語の文法と語彙	1 初級の文型と語彙 2 中級の表現と語彙
第6回	レポートを書く	1 日本語について、テーマを決め、レポートを書く。 2 レポートの書き方と留意点を確認する。
第7回	音声の教え方	1 音声の学習上の問題点を確認する。 2 練習の方法を確認する。
第8回	文字・表記の教え方	1 文字の導入の方法 2 仮名遣い・漢字の指導
第9回	教室活動	学ばせる文型や表現を中心として作られた会話を、実際の場面で使えるようにする。
第10回	教室活動	ミムム練習、パターンプラクティス、インターアクション、コミュニケーション練習など
第11回	教材・教具	1 教材・教具の使い方 2 教材の作成
第12回	模擬授業の準備	1 授業で扱う項目決め、使用する教材・教具を準備する。
第13回	模擬授業の準備	相互フィードバックを経て、準備を整える。
第14回	発表（模擬授業）	相互フィードバック
第15回	まとめ フィードバック	教師からのフィードバック

担当者から一言

講義名	現代社会論（人間文化）					担当教員	丸山 真央
講義コード	1400680	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230SOC202, 235SOC301, 237MUS207						

授業概要

本講義では、現代社会の諸相を理解する視座と方法を、「都市」という空間／社会を切り口に学んでいく。社会学のアプローチを中心に論じるため、社会学の基礎的な考えから専門知識までを身につけることになる。授業では、ディスカッションやディベートなどをできる限り多くとりいれて、受講者が主体的に考える機会をつくりたい。

到達目標

(1) 現代社会を理解するための基礎的な視角と方法を理解できる。(2) 身近な社会現象を、現代社会論の諸理論を参照しながら説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	30	到達目標の(1)と(2)に関するレポートを課す。
上記以外	70	到達目標の(1)と(2)に関する小課題を授業内で課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	現代社会論（人間文化）				担当教員	丸山 真央	
講義コード	1400680	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	230SOC202, 235SOC301, 237MUS207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス&イントロダクション	授業の進め方について説明する。
第2回	空間と社会（1）	都市化に関する理論と現実から、現代の空間と社会、人間生活の関係を考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第3回	空間と社会（2）	都市化に関する理論と現実から、現代の空間と社会、人間生活の関係を考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第4回	社会の発展と社会問題（1）	都市発展の理論と現実から、社会の発展と社会問題について考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第5回	社会の発展と社会問題（2）	都市発展の理論と現実から、社会の発展と社会問題について考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第6回	社会問題の変容（1）	都市問題とその変容にかんする理論と現実から、こんにちの社会問題を考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第7回	社会問題の変容（2）	都市問題とその変容にかんする理論と現実から、こんにちの社会問題を考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第8回	コミュニティ（1）	都市のコミュニティとアソシエーションにかんする理論と現実から、現代のコミュニティについて考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第9回	コミュニティ（2）	都市のコミュニティとアソシエーションにかんする理論と現実から、現代のコミュニティについて考える基礎的な視角と方法を学ぶ。
第10回	グローバル化（1）	グローバル化にかんする理論と現実を学ぶ。
第11回	グローバル化（2）	グローバル化にかんする理論と現実を学ぶ。
第12回	グローバル化（3）	グローバル化にかんする理論と現実を学ぶ。
第13回	ネオリベラリズム（1）	ネオリベラリズムにかんする理論と現実を学ぶ。
第14回	ネオリベラリズム（2）	ネオリベラリズムにかんする理論と現実を学ぶ。
第15回	公共性とガバナンス	公共性とガバナンスにかんする理論と現実を学ぶ。

担当者から一言

講義名	国際関係論				担当教員	菅瀬 晶子	
講義コード	1400861	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	1371LA102						

授業概要

2010年末以来、中東地域各地で独裁政権の打倒をめざす民衆革命が起こり、「アラブの春」としてひろく報道されたことは記憶に新しい。しかしながら、それらのほとんどがその後政情不安や内戦を招き、さらには民衆革命とは無縁であったはずのイスラーム復興主義の台頭とその過激化を招いているのは、すでに報道されているとおりである。その代表例である「イスラーム国」は、その過激な方針ばかりに注目が集まりがちであるが、その背後には20世紀初頭に中東地域が蒙った植民地主義による支配の傷と、中東全体の主導権をめぐる複雑なパワーゲームが存在することを、見逃してはならない。また、中東で起きる紛争は、日本にとって決して「対岸の火事」ではない。日本もまた中東を含めたイスラーム圏と通商や外交、文化交流を通じて深くかかわっており、中東地域での紛争が、今後われわれの日常生活に影響をおよぼす可能性もある。

この授業の目標は、現在中東で起こっている諸問題、ことに「イスラーム国（IS、ダーイシュ）」が深く関わるシリアとイラクの情勢と、ヨーロッパにおけるイスラーム圏からの移民をめぐる問題を理解するための基礎知識を習得することである。授業で学んだことを土台に、領土や宗教、周辺諸国との共存といった、現在の日本が直面している問題についても考察を広げてゆく予定である。

到達目標

イスラームをはじめとした、一神教についての正しい知識を得、理解できるようになる。また、解説に頼るのではなく、自分の判断をもってニュースの内容について考える力を養う。さらに、授業の本題とはそれるが、読みたいと思わせるレポートの書き方についても、折にふれて指導する予定である。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	授業内容や既刊書籍、ネットの情報の丸写しではなく、自分で調べ、自分で考えた内容を評価する。
レポート課題	20	映画を二回鑑賞するが、その感想をまとめたレポート提出を義務づける。
上記以外	20	出席を重視する。

授業外学習

授業のなかで指示する。また、授業中に鑑賞する映画2本について、疑問に思った点や自身の考えを述べたレポートを作成し、提出してもらおう。その内容をレポートとともに、成績評価で重視する（成績評価を参照のこと）。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 グローバル・ディアスポラ	ロビン・コーエン	明石書店	978-4750335971
2	ヨーロッパとイスラーム 共生は可能か	内藤正典	岩波新書	978-4004309055
3	イスラームを知る 6 新月の夜も十字架は輝く 中東のキリスト教徒	菅瀬晶子	山川出版社	978-4634474666

前提学力等

学力は問わないが、日ごろから新聞やニュースに目を通し、気を配る姿勢が求められる。

履修資格

講義名	英語E-learning A				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400965	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号	337PEN309						

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
 3年次末：700～800点
 4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として学生がe-learningの教材ALC NetAcademy2を用いて、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯に、学内の端末から、あるいは、学外接続が可能であるので、どこで学習をしてもよい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	英語E-learning B				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400966	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	437PEN205						

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
4年次末：730～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

- 1 学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
- 2 クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
- 3 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単

授業外学習

- 4 クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy2スタンダードコース・スーパースタンダードコース			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning B				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400966	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	437PEN205						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Self-study Session 1	Two hours of online practice.
第2回	Self-study Session 2	Two hours of online practice.
第3回	Self-study Session 3	Two hours of online practice.
第4回	Self-study Session 4	Two hours of online practice.
第5回	Self-study Session 5	Two hours of online practice.
第6回	Self-study Session 6	Two hours of online practice.
第7回	Self-study Session 7	Two hours of online practice.
第8回	Self-study Session 8	Two hours of online practice.
第9回	Self-study Session 9	Two hours of online practice.
第10回	Self-study Session 10	Two hours of online practice.
第11回	Self-study Session 11	Two hours of online practice.
第12回	Self-study Session 12	Two hours of online practice.
第13回	Self-study Session 13	Two hours of online practice.
第14回	Self-study Session 14	Two hours of online practice.
第15回	Self-study Session 15	Two hours of online practice.

担当者から一言

この演習は目標とするTOEICスコアの高得点を目指すので、学生の主体的・積極的取り組みが求められる。

講義名	英語E-learning C				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400967	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号	437PEN206						

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy2(スパースタンダードコースプラス)を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1 Semester計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

1. 学生は学内で、あるいは、学外(家庭)から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
2. クラス管理者(教員)は週末の金曜日(あるいは週明けの月曜日)の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
3. 1 Semester15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単位は「認定」の評価を出す。
4. クラス管理者は学生の利用状況(利用時間、学習内容)を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。
5. 学習がはかどらない学生に対しては、クラス管理者からその旨伝える。また、学習法の効率が悪い学生に対しては、クラス管理者が個別にCALL教室での個別指導を適宜行う。

到達目標

TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。

*12月TOEICテスト(IP)を受験

到達目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):

1年次末: 450~600点

2年次末: 600~700点

3年次末: 700~800点

4年次末: 800~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	学習実績

単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。なお、特別な理由なく2回以上、週あたり求められている2時間の学習実績が実施されない場合は当該学期での単位認定は行わない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 A				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400971	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

1. 学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
2. クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
3. 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単位は「認定」の評価を出す。
4. クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。
5. 学習がはかどらない学生に対しては、クラス管理者からその旨伝える。また、学習法の効率が悪い学生に対しては、クラス管理者が個別にCALL教室での個別指導を適宜行う。

この演習は目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的

到達目標

TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。

*12月TOEICテスト（IP）を受験

到達目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：

1年次末：450～600点

2年次末：600～700点

3年次末：700～800点

4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	学習実績

単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。なお、特別な理由なく2回以上、週あたり求められている2時間の学習実績が実施されない場合は当該学期での単位認定は行わない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 A				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400971	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第2回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第3回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第4回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第5回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第6回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第7回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第8回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第9回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第10回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第11回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第12回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第13回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第14回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
第15回	ALC NetAcademy2 初中級コースプラス	初中級コースプラスを週あたり2時間以上の学習実績
担当者から一言		

講義名	実践英語演習 B				担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1400972	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1 Semester計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

到達目標

入学時400点前後の学生の場合
2年次末：550～700点

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎週2時間の自習記録を提出
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 E				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400975	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
 3年次末：700～800点
 4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯に、学内の端末から、あるいは、学外接続が可能であるので、どこで学習をしてもよい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	実践英語演習 F				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400976	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：
4年次末：730～900点

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

- 1 学生は学内で、あるいは、学外（家庭）から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
- 2 クラス管理者（教員）は週末の金曜日（あるいは週明けの月曜日）の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
- 3 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単

授業外学習

- 4 クラス管理者は学生の利用状況（利用時間、学習内容）を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy2スタンダードコース・スーパースタンダードコース			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語演習 G				担当教員	小熊 猛	
講義コード	1400977	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

授業概要

学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2 (スパースタンダードコースプラス) を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1 セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

1. 学生は学内で、あるいは、学外(家庭)から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
2. クラス管理者(教員)は週末の金曜日(あるいは週明けの月曜日)の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
3. 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単位は「認定」の評価を出す。
4. クラス管理者は学生の利用状況(利用時間、学習内容)を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。
5. 学習がはかどらない学生に対しては、クラス管理者からその旨伝える。また、学習法の効率が悪い学生に対しては、クラス管理者が個別にCALL教室での個別指導を適宜行う。

到達目標

TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。

*12月TOEICテスト(IP)を受験

到達目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):

1年次末: 450~600点

2年次末: 600~700点

3年次末: 700~800点

4年次末: 800~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	学習実績

単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。なお、特別な理由なく2回以上、週あたり求められている2時間の学習実績が実施されない場合は当該学期での単位認定は行わない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語対策講座					担当教員	John Rippey
講義コード	1400979	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achievement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 9780131847187
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実践英語対策講座				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400979	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL ITP test, academic English, and study strategies.
第2回	Practice Test	Students take a model TOEFL ITP test as a pre-test.
第3回	Reading Exercises (1)	Reading passages and comprehension questions.
第4回	Grammar Exercises (1)	Structure and written expression questions.
第5回	Listening Exercises (1)	Listening passages and comprehension questions.
第6回	Academic Vocabulary	Overview of the university word list, confirmation of individual vocabulary notebooks.
第7回	Reading Exercises (2)	Reading passages and comprehension questions.
第8回	Grammar Exercises (2)	Structure and written expression questions.
第9回	Listening Exercises (2)	Listening passages and comprehension questions.
第10回	Reading Exercises (3)	Reading passages and comprehension questions.
第11回	Grammar Exercises (3)	Structure and written expression questions.
第12回	Listening Exercises (3)	Listening passages and comprehension questions.
第13回	Achievement Review	Comprehensive review of all coursework.
第14回	Proficiency Review	Review for a model TOEFL ITP test to be taken as a post-test.
第15回	Plans of Study	Students generate individual study plans for the summer and fall.
担当者から一言		
This is a relatively demanding course, requiring consistent effort. Weekly homework assignments characteristically involve thoughtful completion of reading, listening, and/or grammar exercises.		

講義名	Introduction to Academic English				担当教員	John Rippey	
講義コード	1400981	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137PEN101						

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achievement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 9780131847187
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Debating Global Issues				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1400985	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	337PEN411						

授業概要

In this course, students will prepare for, and participate in, the 2016 Japanese University English United Nations held at Kyoto University of Foreign Studies on June 24-26th. Each student will be assigned a UN member country, which they will represent at the conference. To prepare, students need to learn about their country and how the United Nations operates. A "position paper" on a given topic must also be completed before the conference.

The dates of the preparation sessions will be scheduled in April, after discussions with participating students.

到達目標

The aims of this course include the following:

- To learn about global issues
- To understand the workings of the United Nations
- To conduct research on contemporary global issues
- To practise English discussion and debating skills
- To participate in an international environment with students from many countries

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 100%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook. Materials will be distributed in class and/or by email.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	西洋史					担当教員	村上 司樹
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	1371LA104						

授業概要

文化を知るのに歴史の学習は欠かせません。例えば1人の人間でも、彼ないし彼女の外見・行動・性格には、その人の歩んできた人生があらわれています。この個人が集まったものを社会といい、社会の歩んできた道どりを歴史といいます。ですから町並み、食生活、ものの考え方といった文化は、どれもその歴史の結果であり、反映なのです。授業では西ヨーロッパの歴史について学びますが、偉人・都市・事件などの名前・年号をこまごまと「暗記する」ことはしません。現在の文化や習慣について「理解する」、未来の動きを「考える」ための知識として過去を学びます。それは今後みなさんが海外の情報や文物、あるいは海外でする経験について思いをめぐらし、論理的に考えるための具体的な手がかりとなるでしょう。

到達目標

西洋的な風景・文物・習慣、あるいは私たち現代日本人に大きな影響をあたえている西洋文明の、背景となっている西洋史について具体的な知識を身につける。かつそれを論理的に説明する技術を身につけ、自分のものの見方・考え方で変えるような本当の教養を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	具体的・論理的に説明できているかどうか。論述1問のみ。持ち込み可。
レポート課題	30%	具体的・論理的に説明できているかどうか。形式・採点基準は試験と同様。書き方については、あらかじめ具体的な手引きを配布し、毎回の授業でも折にふれて説明する。
上記以外	30%	毎回提出するレスポンス・ペーパー。具体的・論理的に説明しようとしているかどうか。書き方については、初回授業で説明し、具体例も示したうえ、毎回の授業でも折にふれて説明する。

人名や年号のこまかい暗記も美文を書く才能も必要ありません。課題は少なくありませんが、課題を出す以上、それを評価に変える方法は教えます。出席点はいっさいありませんが、遅刻や欠席によるペナルティもありません。誤っているところ、足りないところを探してマイナスするという減点主義もとりません。教室に来て座っているだけでは1点のプラスにもなりません、何かを書いてマイナスになることは1点たりともありません。

授業外学習

教材のプリントはこちらで用意し、図表も多用して説明します。ですから受講生のみなさんも、以下3つを実行してください。授業前には、プリントにあらかじめ目を通す。授業後には、プリントを読み返す。プリントを読む際は、線を引くなり印をつけるなり、必ず手を動かす。授業と

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は必要ありませんが、受講の仕方に関する説明はすべて初回に行く（そして二度と繰り返さない）ので、希望者は必ず出席してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]	服部良久・南川高志・山辺規子	ミネルヴァ書房	978-4623045921
2	ヨーロッパの歴史 欧州共通教科書	フレデリック・ドリュージュ（木村尚三朗監修・花上克己訳）	東京書籍	978-4487761708
3	子どもたちに語るヨーロッパ史	ジャック・ル・ゴフ（前田耕作監訳・川崎万里訳）	筑摩書房	978-4480092465

個々の内容に関する参考書は適宜、授業プリントで、簡単な紹介文とともに示します。積極的に利用してレスポンス・ペーパーの記述にも役立てて

前提学力等

くりかえしますが暗記は不要です。ただ例えばスポーツ観戦でも、ルールや選手について豊かな知識を持っている方が適切なコメントや奥深い感想を語ることができ、なにより本人自身がゲームを楽しめます。ですからどうぞ手間暇を惜しまず、自ら本を手にとってください。興味のある

履修資格

講義名	卒業研究論文（国際コミュニケーション）				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かのる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地蔵堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1401821	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	437GTH401						

授業概要

発展演習 ・ 、研究演習 ・ での指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究を深め、その成果を論文として提出する。

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文に対して、学科で定めた「卒業研究審査基準」に基づいて審査をおこなう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多民族社会論 B				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1401862	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区域の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル=遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多民族社会論C				担当教員	河 かおる	
講義コード	1401863	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多民族社会という観点から理解する。前半は、特に在日コリアンの歴史と現状について中心的に扱う。後半は、1990年代以後に増加し、滋賀県や近隣府県でも在住外国人の首位を占める在日ブラジル人とその家族について中心的に扱う。

5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は土曜日等に集中講義で行う予定（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。

到達目標

- (1)日本における少数民族問題について理解する。
- (2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末課題（プレゼンテーション、レポート）
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人－法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	
2				
3				

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論A				担当教員	河 かおる	
講義コード	1401865	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	137MUS101-C						

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多民族社会という観点から理解する。前半は、特に在日コリアンの歴史と現状について中心的に扱う。後半は、1990年代以後に増加し、滋賀県や近隣府県でも在住外国人の首位を占める在日ブラジル人とその家族について中心的に扱う。

5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は土曜日等に集中講義で行う予定（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。

到達目標

- (1)日本における少数民族問題について理解する。
- (2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末課題（プレゼンテーション、レポート）
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人－法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	
2				
3				

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論B					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401866	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137MUS102						

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル=遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論B				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1401866	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137MUS102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	「モンゴル世界」の多様性(1)	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第3回	「モンゴル世界」の多様性(2)	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第4回	「モンゴル世界」の多様性(3)	モンゴル国、中国とロシアといった参加国に分散居住するモンゴル人世界の多様性について講義。
第5回	中国領「モンゴル族」(1)	中国領内各地に分散居住する「モンゴル族」の状況を講義。
第6回	中国領「モンゴル族」(2)	
第7回	内モンゴル自治区の成り立ち(1)	内モンゴル自治区の成り立ちを歴史的、現代的に捉えて講義。
第8回	内モンゴル自治区の成り立ち(2)	
第9回	モンゴル帝国とユーラシア(1)	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第10回	モンゴル帝国とユーラシア(2)	ユーラシア各地における多民族と多文化的局面とモンゴル帝国との関係を講義。
第11回	元朝の中国統治と多民族社会の形成(1)	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第12回	元朝の中国統治と多民族社会の形成(2)	多民族国家中国の歴史的経緯を講義。
第13回	現代中国の民族問題(1)	現代中国の民族問題を講義。
第14回	現代中国の民族問題(2)	現代中国の民族問題を講義。
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	チベット語基礎					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237FLA113						

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	チベット語基礎					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237FLA113						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第2回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第3回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第4回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第5回	文字と発音の練習	チベット文字の書き方と発音について学ぶ
第6回	代名詞	文法についての解説と練習
第7回	連結動詞	文法についての解説と練習
第8回	連結動詞の否定形、疑問形	文法についての解説と練習
第9回	存在・所有を表す動詞	文法についての解説と練習
第10回	存在・所有を表す動詞の否定形、疑問形	文法についての解説と練習
第11回	助詞	文法についての解説と練習
第12回	助詞	文法についての解説と練習
第13回	一般動詞	文法についての解説と練習
第14回	一般動詞	文法についての解説と練習
第15回	形容詞と指示代名詞	文法についての解説と練習

担当者から一言

講義名	チベット語基礎				担当教員	棚瀬 慈郎	
講義コード	1402062	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	237FLA114						

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション A				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1402081	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA109						

授業概要

本授業は中国語 Aおよび中国語 Bの単位を取得した学生を対象に、中国語 Aおよび中国語 Bと並行開講され、既習の文法知識（基本文型）を整理・復習しながら、作文・読解を中心としたテキストに沿って、大量の練習問題を解いて行きます。

到達目標

- (1) 簡単な文章を読み、書くことができるようになる。
- (2) 簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ 中国語作文(改定版)	郭春貴ほか	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1402082	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA110						

授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 B、中国語 Bを履修した上で、本科目を履修することが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション A					担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1402083	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237FLA225						

授業概要

本授業は中国語 A、中国語 B、中国語コミュニケーション Aおよび中国語コミュニケーション Bの単位を取得した学生を対象に、初級レベルの能力の維持・強化を図り、中級レベルの到達を目指します。

到達目標

- (1) 中国語 Aおよび中国語 Aで学んだ文型が口頭で表現できるようになる。
- (2) 少し複雑な表現ができるようになる。
- (3) 比較的容易な読み物の内容を辞書を引きながら理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ 中国語作文(改訂版)	郭春貴ほか	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1402084	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA226						

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語コミュニケーション Bを履修していることが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション D				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1402086	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

- (1) 中国語による作文力を高めること
- (2) 中国語会話力を鍛えること
- (3) 中国語語彙を増強すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、課題、学習態度などに基づいて判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	中国語留学対策				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1402087	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA227						

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

- (1) 中国語による作文力を高めること
- (2) 中国語会話を鍛えること
- (3) 中国語語彙を増強すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、課題、学習態度などに基づいて判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A				担当教員	未定*	
講義コード	1402151	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA111						

授業概要

朝鮮語 A・Bで学んだ語彙・文法を基礎にして、決まり文句を用いた様々な場面でのあいさつやあいづち・質問などの会話、買い物など日常生活に必要な会話、様々な公共機関を利用する際の会話などを中心に、文章語とは異なる口語表現を学ぶ。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、会話を中心に学習する。

到達目標

- (1)ハングル能力検定試験4級レベルの基本文法を理解できる。
- (2)比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3)ハングル能力検定試験4級レベルの様々な語尾や表現を用いて会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	

授業外学習

聞き取り、慣用句の暗記、学んだ表現を用いてスピーキングなど

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 韓国語の世界へ 初中級編	李潤玉ほか	朝日出版社	978-4-255-55644-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・Bを履修済みであること。またはハングル能力検定試験5級合格程度の学力を有していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション B				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1402152	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA112						

授業概要

朝鮮語 A・Bで学んだ語彙・文法を基礎にして、辞書を積極的に活用しながら朝鮮語（韓国語）の文章を読み理解した上で、内容について発表したり話しあうことで表現力を身につける。

到達目標

- (1) 朝鮮語の文章の講読能力をつける。正確に日本語に訳せることも含む。
- (2) 理解した内容についての朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる（文字・口頭）。
- (3) 朝鮮語で説明したり、朝鮮語で自分の意見を述べたりできる力をつける。
- (4) 朝鮮語でなされた他人の発言が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、択一式・論述式試験を行う。(20%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10%)
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標各項目について、小テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)10%、(2)10%、(3)20%、(4)20%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。文章理解の確認については最初の何回かは日本語訳の提出により評価する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国社会を読む	曹美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55613-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・Bを履修済みであること。またはハングル能力検定試験5級合格程度の学力を有していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A				担当教員	河 かおる	
講義コード	1402153	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA228						

授業概要

朝鮮語 A・ Bに引き続き『パランセ 韓国語 中級』の13～18課で、ハングル能力検定試験4級合格程度の語彙・文法などを総合的に学習する。その後、韓国映画を鑑賞しながら映画に出て来る表現を確認し、また感想を発表することを通じて、TOPIK（1～2級）合格レベルを目標に、聴解と表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK（1～2級）レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK（1～2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 単語の範囲にとどまらず、連語など組合せとして用いられる表現や、使用頻度の高い慣用句なども理解し、使用することができる。
- (4) パソコンのキーボードで朝鮮語のタイピングができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) TOPIK（1～2級）レベルの文法を理解できる。 (2) TOPIK（1～2級）で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
レポート課題		
上記以外	70	小テスト20% ・学習した範囲の語彙や文法を理解している。 中間テスト20%

授業外学習

毎回の予習
毎回の小テストの準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パランセ韓国語 中級	金京子	朝日出版社	978-4-255-55612-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語能力試験 初級対策単語集	金珉秀	駿河台出版社	978-4-411-03047-4
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A				担当教員	河 かおる	
講義コード	1402153	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA228						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	バランス中級第13課	「前置きや理由」の表現
第2回	バランス中級第14課	ハンダ体の平叙形と平叙形の引用文、「禁止」の表現
第3回	バランス中級第15課	へ体、勧誘形の引用文
第4回	バランス中級第16課	ハンダ体の疑問形・命令形
第5回	バランス中級第17課	疑問系・命令形の引用文
第6回	バランス中級第18課	「経験」や「可能・不可能」の表現
第7回	中間テスト	第6回までの学習内容の確認テスト。 ハングル能力検定試験4級の過去問を使用。
第8回	映画1-1	現代韓国社会を描写した映画を選定し、鑑賞する。
第9回	映画1-2	映画のセリフから語彙と文法の理解、セリフの発音練習 場面についてのQ&A
第10回	映画1-3	映画のセリフから語彙と文法の理解、セリフの発音練習 場面についてのQ&A
第11回	映画1-4	あらずじ、印象に残った場面、感想についての発表
第12回	映画2-1	現代韓国社会を描写した映画を選定し、鑑賞する。
第13回	映画2-2	映画のセリフから語彙と文法の理解、セリフの発音練習 場面についてのQ&A
第14回	映画2-3	映画のセリフから語彙と文法の理解、セリフの発音練習 場面についてのQ&A
第15回	映画2-4	あらずじ、印象に残った場面、感想についての発表

担当者から一言

講義名	朝鮮語コミュニケーション B				担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1402154	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA229						

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Bで学んだことを基礎に、日記やレポートなど、比較的長いまとまりのある文を書く力を養う。

到達目標

- (1)韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験3級合格程度の作文の力を身につける。
(2)留学した際に、試験の答案やレポートを書けるようになるために、辞書を駆使しながら自分が表現したいことを文章で書き表す力を身につける。
(3)朝鮮語でなされた他人の意見を理解し、それに対すして自分の意見を朝鮮語で述べるができるようにする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)(2)について、論述式試験を行う。(40%)
レポート課題	20%	到達目標(1)(2)について、レポート課題を課す。(20%)
上記以外	40%	到達目標各項目について、小テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)(2)10%、(3)30%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

講読による文章理解の確認や単語テスト、地域の紹介やレポートなど、課題を課する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国社会を読む	曹美庚、林炫情、金眞	朝日出版社	978-4-255-55613-0
2				
3				

朝鮮語コミュニケーション Bと同じ教科書である。IB参加者は新たに購入する必要はない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション C				担当教員	河 かおる	
講義コード	1402155	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

韓国のインターネットメディアの記事(音源・文字)をテキストにして、読解力・聴解力をつける。記事を通じて現代韓国のホット・イシューについての理解を深めると同時に、記事の内容について朝鮮語(韓国語)で意見を述べたり質問をしたりするコミュニケーション能力をつける。TOPIK(1~2級)もしくはハングル能力検定試験3級レベルを目標に、聴解と読解を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK(1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK(1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 私的で身近な話題ばかりではなく、親しみのある社会的出来事についても話題にできる。
- (4) 辞書を用いてニュースを読解、聴解することができる。
- (5) 学習した記事の内容について、質問や意見を表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	ハングル能力検定試験3級過去問を用いて、ハングル能力検定試験3級レベルの語彙・文法、読解・聴解の理解ができているかを確認する。
レポート課題		
上記以外	70	小テスト40% ・前の時間に学んだ文法要素、語彙、表現等の理解度を、単語テストやディクテーション、作文等を通じて確認する。 毎回の予習30%

授業外学習

毎回の予習
毎回の小テストの準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

韓国のインターネット・メディアの記事(授業で配付する)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・B、朝鮮語 A・B、朝鮮語コミュニケーション A・Bを履修済みであること。もしくは、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション C				担当教員	河 かおる	
講義コード	1402155	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	韓国メディア事情の説明 / Web辞書、辞書アプリの使い方など
第2回	記事講読	・予習を前提に、記事の意味、文法要素、単語や表現を確認していく。 ・一つの記事を読み終わるごとに、感想・意見・質問などを朝鮮語（韓国語）で発表しあう。
第3回	記事講読	同前
第4回	記事講読	同前
第5回	記事講読	同前
第6回	記事講読	同前
第7回	記事講読	同前
第8回	記事講読	同前
第9回	記事講読	同前
第10回	記事講読	同前
第11回	記事講読	同前
第12回	記事講読	同前
第13回	記事講読	同前
第14回	記事講読	同前
第15回	記事講読	同前

担当者から一言

取り上げる記事は、その時点なるべく新しいものを選びます。「」、「 (金の匙) / (土の匙) = (スプーン階級論)、「N放世代」...など、特に現代韓国社会における若者の困難を象徴する新造語をキーワードにして記事を選ぶつもりです。受講者のリクエスト

講義名	朝鮮語コミュニケーション D					担当教員	崔 眞善
講義コード	1402156	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

授業外学習

テキストの問題(宿題)単語、会話テスト(小試験)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語留学対策				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1402157	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA230						

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

授業外学習

テキストの問題(宿題)単語、会話テスト(小試験)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	通訳ガイド講座				担当教員	石井 隆之	
講義コード	1402203	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	437LAC313						

授業概要

通訳案内士試験では、外国語の運用力とともに日本の歴史や地理、文化の知識も必要とされますが、合格すれば有資格の観光ガイドとしての道が開けます。また、国際協力やビジネス、さらに、通訳者や翻訳家、そして英会話教育の方面に進む場合でも、この資格は有利です。授業では、英語の通訳案内士を目指すに当たり、その基礎となる英文解釈力、英作文力、日本事象説明力という基本3能力を身に付け、さらに、英文解釈に必要な語彙力、英作文に必要な文法力、日本事象に必要な文化力(=日本文化の知識)に磨きをかけます。特に、今期は「日本の宗教」を日本事象の総合テーマとします。

また、ガイド業務の様々な場面で実際に使われる文例パターンを取り上げたり、1次対策(筆記)や2次対策(面接)の練習を実際に行ったり、現実のガイドの場面を想定した訓練を行ったりすることを通じて、この資格の傾向と対策について具体的にお話したいと思います。

講義の第13回目と第14回目には、日本文化などを中心とした発表(英語によるプレゼン)の機会も設けます。

「オタワ」(面白く、ためになり、分かりやすい)授業を目指しますので、積極的な授業参加を希望します。

【2015年度より開講開始科目】

到達目標

- (1) 通訳案内士試験の概要を把握しながら、受験の準備ができる。
- (2) 通訳ガイド業務に必要な日本の地理や歴史、文化の概略を確認できる。
- (3) 通訳ガイド業務(英語)に求められる「英語による基礎的なコミュニケーション」ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	文法力 10% 英文解釈力 10% 英作文力 10%
レポート課題		
上記以外	60%	各回の課題への取り組み 20% プレゼン 20% 以上が到達目標(2)に関係する

授業外学習

1. 授業で出されたテーマに関する研究を宿題とします。無理のない分量の宿題にします。
2. 小テストは特に行いませんが、各回の授業で、演習(主として課題に取り組んだり、試験問題を解くこと)、または、実践的練習(ペアやグループ)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の宗教の知識と英語を身につける	石井隆之	ベレ出版	978-4-86064-266-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本講座を受けるにあたって、TOEICスコアでは600点以上(英検では2級以上)が望ましいですが、将来的に通訳案内士の資格を取りたい学生、また、英語力を向上させたいという熱意のある学生は、TOEICスコアや資格に関係なく受け付けます。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1402281	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA105						

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目) で身につけた文法の知識を活用し、読解練習、聞き取り、書き取り、作文を通じてさらに高度なコミュニケーション能力を総合的に身につけることを目指す。授業の進め方に関しては、音読および訳出の練習、文法事項の確認を行う。

到達目標

海外留学先での日常生活などに必要となるドイツ語の運用能力(「読む・書く・聞く」能力)を身につけることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って簡単な文章を読解したり、(2) 作文したりすることができる。(3) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(4) 朗読された文章を聞いて、指定された語彙を書き取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(3) に関しては筆記試験(60%)の成績で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1) に関しては読解練習(20%)、(2) に関しては作文(10%)、(4) に関しては聞き取り練習(10%)の成績で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

ドイツ留学を計画している人は特に語彙や表現を積極的に増やしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介します。

前提学力等

ドイツ語 A と B (全学共通教育科目) を履修していること。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402282	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA106						

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目)で身につけた文法の知識、語彙、表現を活用する。主として会話練習、聞き取りに重点を置いてドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけていく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ドイツ(ドイツ語圏)に留学することになっても困らない程度のコミュニケーション能力を習得させることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(2)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(3)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(4)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1)と(2)に関しては筆記試験(30%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2)に関しては小テスト(10%)、(3)に関しては口述試験(30%)、(4)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:30%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402282	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA106						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	既習文法の復習 (1)	会話練習
第2回	既習文法の復習 (2)	会話練習
第3回	日常会話 (1)	会話練習+聞き取り練習
第4回	日常会話 (2)	会話練習+聞き取り練習
第5回	ドイツの文化と習慣について	会話練習+聞き取り練習
第6回	日常会話 (3)	会話練習+聞き取り練習
第7回	日常会話 (4)	会話練習+聞き取り練習
第8回	日常会話 (5)	会話練習+聞き取り練習
第9回	日常会話 (6)	会話練習+聞き取り練習
第10回	日常会話 (7)	会話練習+聞き取り練習
第11回	日常会話 (8)	会話練習+聞き取り練習
第12回	日常会話 (9)	会話練習+聞き取り練習
第13回	日常会話 (10)	会話練習+聞き取り練習
第14回	後期の復習 (1)	会話練習
第15回	後期の復習 (2)	会話練習

担当者から一言

気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語コミュニケーション A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1402283	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA219						

授業概要

一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とし、読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。ドイツ国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトピックスをはじめとして、非常にさまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。

到達目標

初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要な語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)ドイツ語で一般教養について書かれた文章を、辞書などを使って読解することができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(2)に関しては筆記試験(60%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1)に関しては読解練習(40%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてくること。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に紹介します。

前提学力等

ドイツ語I(A,B)、(A,B)(全学共通教育科目)を履修していること。またドイツ語コミュニケーション(A,B)を履修していることが望ましい(履修していることを前提としたレベルの授業内容となっています)。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1402283	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA219						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	初級文法の復習
第2回	歴史&地理(1)	読解練習
第3回	歴史&地理(2)	読解練習
第4回	歴史&地理(3)	読解練習
第5回	社会&芸術(1)	読解練習
第6回	社会&芸術(2)	読解練習
第7回	歴史&地理(4)	読解練習
第8回	科学(1)	読解練習
第9回	科学(2)	読解練習
第10回	科学(3)	読解練習
第11回	経済(1)	読解練習
第12回	経済(2)	読解練習
第13回	経済(3)	読解練習
第14回	文化(1)	読解練習
第15回	文化(2)	読解練習

担当者から一言

言語を習得するには時間がかかります。失敗を恐れず到我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語コミュニケーション B					担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402284	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237FLA220						

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B）やドイツ語コミュニケーション A、 Bで身につけた知識を応用し、より高度な会話練習を行う。また留学生活で必要となる表現を学習する。聞き取り練習、書き取り練習やスピーチの練習などを通じて日常生活を始めとしてさまざまな状況に対応できるようにドイツ語の運用能力を磨く。

到達目標

留学先の国で生活するのに必要なドイツ語の運用能力を身につける。より高度なドイツ語文法の知識を応用してただ単純な短い日常会話文だけではなく、コミュニケーションの相手の意見を正確に把握することをめざす。相手に自分の考えを様々なドイツ語の表現を組み合わせる論理的に伝えたりすることができるようになることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得したドイツ語の表現や文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）習得した文法の知識を活用してドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) と (2) に関しては筆記試験 (5 0 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(2) に関しては小テスト (1 0 %) 、 (3) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 4 0 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402284	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA220						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習 + 会話練習
第2回	人の格好、人格について	会話練習
第3回	服装について	会話練習
第4回	長文(1)	読解練習、聞き取り練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	長文(2)	読解練習、聞き取り練習
第7回	動詞と前置詞の組み合わせ	会話練習
第8回	接続法	会話練習
第9回	比較級	会話練習
第10回	現在完了形、受動態	会話練習
第11回	長文(3)	読解練習、聞き取り練習
第12回	過去完了形	会話練習
第13回	家族について	会話練習
第14回	復習(1)	会話練習
第15回	復習(2)	会話練習

担当者から一言

気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語コミュニケーション D				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402286	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B ）やドイツ語コミュニケーション A、 B で身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（ 4 ）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1) と (2) に関しては筆記試験 (30 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2) に関しては小テスト (10 %)、(3) に関しては口述試験 (30 %)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 30 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション D					担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402286	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習 + 会話練習
第2回	人について	会話練習 + 聞き取り練習
第3回	意見を表現する練習	会話練習
第4回	ドイツの諺	会話練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	漫画の制作	作文練習
第7回	日本の物をドイツ語で説明する	会話練習
第8回	日本とドイツを比較する	会話練習
第9回	長文	読解練習、聞き取り練習
第10回	ドイツの生活について	会話練習
第11回	若者のドイツ語、方言について	会話練習
第12回	テーマを決めて発表する練習 (1)	会話練習
第13回	テーマを決めて発表する練習 (2)	会話練習
第14回	復習(1)	会話練習
第15回	復習(2)	会話練習

担当者から一言

気軽に質問をしてください。

講義名	ドイツ語留学対策				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402287	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA221						

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B ）やドイツ語コミュニケーション A、 B で身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（ 4 ）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1) と (2) に関しては筆記試験 (30 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2) に関しては小テスト (10 %)、(3) に関しては口述試験 (30 %)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 30 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	ドイツ語留学対策				担当教員	Anja Sliwa	
講義コード	1402287	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA221						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	既習文法の復習 + 会話練習
第2回	人について	会話練習 + 聞き取り練習
第3回	意見を表現する練習	会話練習
第4回	ドイツの諺	会話練習
第5回	仕事について	会話練習
第6回	漫画の制作	作文練習
第7回	日本の物をドイツ語で説明する	会話練習
第8回	日本とドイツを比較する	会話練習
第9回	長文	読解練習、聞き取り練習
第10回	ドイツの生活について	会話練習
第11回	若者のドイツ語、方言について	会話練習
第12回	テーマを決めて発表する練習 (1)	会話練習
第13回	テーマを決めて発表する練習 (2)	会話練習
第14回	復習(1)	会話練習
第15回	復習(2)	会話練習

担当者から一言

気軽に質問をしてください。

講義名	発展演習（国際コミュニケーション）				担当教員	学科教員 / 小栗 裕子 / 河 かのる / 小熊 猛 / 呉 凌非 / 島村 一平 / 地藏堂 貞二 / John Rippey / 棚瀬 慈郎 / 谷口 真紀 / 橋本 周子 / Borjigin Burensain / Martin Hawkes / 山本 薫 / 吉村 淳一	
講義コード	1402621	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	337TUT203						

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習 (国際コミュニケーション)				担当教員	学科教員/小栗 裕子/河 かおる/ 小熊 猛/呉 凌非/島村 一平/ 地藏堂 貞二/John Rippey/棚瀬 慈郎/ 谷口 真紀/橋本 周子/Borjigin Burensain/ Martin Hawkes/山本 薫/吉村 淳一	
講義コード	1402622	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	337TUT204						

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	パブリック・スピーチ					担当教員	John Rippey
講義コード	1402623	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students strengthen their speech skills by first reading about and watching examples of public speaking, and by then extensively practicing their own speeches. In this course, students practice three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner.

到達目標

- (1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
- (2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
- (3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
- (4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Public Speaking				担当教員	John Rippey	
講義コード	1402624	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	337ENG308						

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students strengthen their speech skills by first reading about and watching examples of public speaking, and by then extensively practicing their own speeches. In this course, students practice three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner.

到達目標

- (1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
- (2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
- (3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
- (4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Public Speaking					担当教員	John Rippey
講義コード	1402624	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	337ENG308						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of course content and activities.
第2回	Impromptu Speech (1)	Principles and practice.
第3回	Extemporaneous Speech (1)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第4回	Impromptu Speech (2)	Principles and practice.
第5回	Extemporaneous Speech (2)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第6回	Impromptu Speech (3)	Principles and practice.
第7回	Extemporaneous Speech (3)	Manuscript preparation, then delivery without manuscripts.
第8回	Midterm Evaluation	An extemporaneous speech.
第9回	Formal Speech (1)	Peer feedback on speech manuscript.
第10回	Formal Speech (1), continued	Delivery of speech.
第11回	Formal Speech (2)	Peer feedback on speech manuscript.
第12回	Formal Speech (2), continued	Delivery of speech.
第13回	Formal Speech (3)	Peer feedback on speech manuscript.
第14回	Formal Speech (3), continued	Delivery of speech.
第15回	Course Overview	Delivery of final speeches.

担当者から一言

Homework is assigned each week and is compulsory. Students are expected to attend every class meeting; more than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

講義名	フランス語コミュニケーション A				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1402901	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA107						

授業概要

フランス留学を視野に入れた、初～中級のフランス語の授業です。前期半年間に学習した初級文法の知識をもとに、より実践的なシチュエーションにおけるフランス語運用を目指します。ある程度まとまった長さの文章を読解するとともに、簡単な会話の実践、聞き取りや書き取りを行います。文法知識の定着を図りつつ、現地での生活をスムーズに開始できるように準備します。

到達目標

- (1) フランス語初～中級程度の文章を理解できる。
- (2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す(1)については、定期試験(50%)および1課が済むごとに実施する小テスト(25%)
レポート課題		
上記以外	25	(2)については毎回の予習が確実にできているかの確認(25%)によって評価する。

1課済むごとに、確認の小テストを実施する。(毎回の出席が必須であるが、やむをえない理由で欠席し、小テストが受けられない場合は、その都度教員に相談すること)

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテキスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Les jeunes Français d'aujourd'hui		朝日出版社	9784255352633
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A					担当教員	橋本 周子
講義コード	1402901	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137FLA107						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	1 課	「東京のフランス人」【教科書の事前購入・予習が必要です。「授業外学習」の欄を参考のうえ、準備をしてください。】
第2回	2 課	「趣味について語る」
第3回	3 課	「フランスでの食生活」
第4回	4 課	「日本食のイメージ」
第5回	5 課	「ブルターニュの音楽祭」
第6回	これまでのまとめ・復習	
第7回	6 課	「パリに住む、地方に住む」
第8回	7 課	「クロエの一日」
第9回	8 課	「ヴァカンスとアルバイト」
第10回	9 課	「演劇との出会い」
第11回	これまでのまとめ・復習	
第12回	10 課	「家庭事情」
第13回	11 課	「就職問題」
第14回	12 課	「パカロレアを受けてからどうする？」
第15回	これまでのまとめ・復習	
担当者から一言		

講義名	フランス語コミュニケーション B					担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402902	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137FLA108						

授業概要

この授業で直ぐに使える便利な構造を学ぶ。
 様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
 そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
 「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A				担当教員	橋本 周子	
講義コード	1402903	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA222						

授業概要

フランス留学を視野に入れた、中級フランス語の授業です。初級文法で学習した知識を用い、ある程度まとまった長さの文章を読解していきます。文法知識の定着を図りつつ、現代フランスの実情に関する知見も養います。読解が授業の中心となりますが、適切なイントネーションで長文を声に出して読む練習も行います。なお、進度については、習熟度によって、下記【授業計画】よりも遅く展開する可能性があります。

到達目標

- (1) フランス語中級程度の文章を理解できる。
(2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標に示す(1)については、定期試験(50%)および1課が済むごとに実施する小テスト(25%)
レポート課題	25	(2)については毎回の予習が確実にできているかの確認(25%)によって評価する。
上記以外		

1課済むごとに、確認の小テストを実施する。(毎回の出席が必須であるが、やむをえない理由で欠席し、小テストが受けられない場合は、その都度教員に相談すること)

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。具体的な予習の仕方については授業でも示すが、授業で習う予定の課のテキスト全文をノートに写した上で、全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	時事フランス語 2016年度版(ア・ラ・パージュ)		朝日出版社	9784255352664
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語IA, IIAを履修済みであること。

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション B					担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402904	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	237FLA223						

授業概要

この授業はフランス語コミュニケーション Bの続きです。
様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション D				担当教員	Gilles Fernandez	
講義コード	1402906	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

留学を予定している学生やモチベーションが高い学生のための授業です。

次のテーマを学びます：

- 過去の出来事について語る
- 子供の時の思い出を語る
- 有名人の伝記を語る
- 手紙やはがきの返事を書く
- 日本の物語を語る
- 物を描写する
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	プレゼンテーション X 2 = 20 + 文章 X 2 = 20

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語留学対策				担当教員	Gilles Fernandez	
講義コード	1402907	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA224						

授業概要

留学を予定している学生やモチベーションが高い学生のための授業です。

次のテーマを学びます：

- 過去の出来事について語る
- 子供の時の思い出を語る
- 有名人の伝記を語る
- 手紙やはがきの返事を書く
- 日本の物語を語る
- 物を描写する
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	プレゼンテーション X 2 = 20 + 文章 X 2 = 20

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学概論A				担当教員	島村 一平	
講義コード	1402960	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	2300TH204, 137BAC104						

授業概要

文化人類学は、異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある。国境を越えて様々な人々が行き交う現代、文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は、益々、重要性を持つものだと考えられる。俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。本講義ではこうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性がある。

到達目標

1) 文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に付けることができる。
 2) まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方が身に付く。3) 一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性が見いだせるようになる。
 4) 我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことも理解できるようになる。(日本の文化を相対的に眺めるといふ視点を身に付けることができるようになる)。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	穴埋め試験・・・文化人類学の基礎的な理論を理解できているか。あるいは著名な文化人類学者の名前なども問う。記述試験・・・論理的であること。文化人類学の概念を正確に理解できていること。発想にオリジナリティがあること。
レポート課題	40	論理的であること。文化人類学の用語が正確に理解し、使えていること。ネット情報だけに頼らず、文献も調べていること。
上記以外		授業期間中に発言をした学生は、一回につき1点を加点していきます。

授業外学習

各回の該当する教科書の部分は、事前に読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学カレッジ版	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2	文化人類学キーワード	山下晋司・船曳建夫	有斐閣	978464105886
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	よくわかる文化人類学	綾部恒雄・桑山敬己	ミネルヴァ書房	4623045773
2	よくわかる異文化コミュニケーション	池田理知子	ミネルヴァ書房	9784623056095
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	文化人類学概論B				担当教員	棚瀬 慈郎	
講義コード	1402970	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	2300TH205, 1371LA101						

授業概要

文化人類学において蓄積されてきた知見のうち、生殖、親族関係、社会集団、また環境への適応や儀礼についての理論、事例を紹介する。

到達目標

文化人類学の広範な学術的蓄積の中で、特に社会関係についての理論、知見についての知識の獲得を目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学(カレッジ版)	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学特論					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	2300TH206, 3371LA205						

授業概要

人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。

到達目標

性、誕生、死といった人間の普遍的な事象を考察することを通じて、文化の特殊性と、人間存在の普遍性についての考察を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業中に紹介した文化人類学のタームや理論について十分理解しているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ポストコロナル論					担当教員	栢木 清吾
講義コード	1402991	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	3371LA209						

授業概要

「ポストコロナル論」とは、植民地主義の歴史と、現代世界に残存するその負の遺産を理解し、それからの脱却を目指すために練り上げられてきた批判的知の集積である。本授業ではまず、フランツ・ファノン、エドワード・サイード、ガヤトリ・スピヴァクといった重要な思想家・理論家の議論を紹介しながら、ポストコロナルな諸問題を考察するために有用な基礎的な概念やキーワードについて概説する。その上で、そうした知見を活かしながら、受講者自身が身近な領域のなかにポストコロナルな諸問題を再発見できるようになることが、本授業の目的とする。中学、高校の教科書で習ったはずの文学作品、新聞やテレビで目にしたはずの事件、毎日の食卓に上がる飲み物や食べ物、観光旅行の定番になっている地域やスポットなどを題材に取りながら、われわれの日常世界に偏在する植民地主義の痕跡を浮き彫りにしていきたい。

到達目標

- (1) ポストコロナル論に関わる基礎的な概念やキーワードを理解できる。
- (2) 授業内容を踏まえた上で、自ら課題を設定し、それについて思考し、調査することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	到達目標(1)(2)について、レポート課題を課す。
上記以外	30	到達目標の各項目について、数回にわたってミニツツペーパーの執筆を求める。

授業外学習

初回の授業において、各回の授業で取り上げる主要テキストの一覧を配布する。授業内容をよりよく理解するために、事前に目を通しておくことが望ましい。また本授業では、補助教材として、映画や小説、漫画、アニメなど様々な作品を紹介する。復習にあたって、レジュメやノートの再読と

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定の教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1冊でわかるポストコロナリズム	ロパート・ヤング	岩波書店	4000268783
2	ポストコロナル理論入門	アーニャ・ルーンバ	松柏社	4881989650
3	ポストコロナリズム	本橋哲也	岩波書店	400430928X

前提学力等

世界史と日本史(とくに近現代史)に関して高校教科書程度の知識を有していれば、本授業の内容を理解しやすいだろうと思われる。が、それらについて十分に知悉していなければならない、というわけではない。人はいつからでも学び直せるのだから。

履修資格

講義名	翻訳文化論				担当教員	呉 凌非	
講義コード	1402992	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	337LAC210						

授業概要

翻訳は単なる手作業の一つだと思われがちですが、日本の科学研究に大きく寄与してきた翻訳自体も学問としてとらえることの重要性がかなり認識されてきました。国際コミュニケーション学科の学生は翻訳文化論を通して翻訳の基本を知ることができるのみならず、国際感覚を身につけることもできます。この講義は人間による翻訳とコンピューターによる翻訳の比較をしながら進めていきます

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 人間によることばの翻訳に関する知識を習得すること
- (3) コンピューターによることばの翻訳に関する知識を理解すること
- (4) 宿題を提出すること 成績評価

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などで判断します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の際に紹介します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと

履修資格

講義名	モンゴル語 A				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403036	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL141, 137FLA101						

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている。本講義（I A）では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法をマスターすることを目的とする。

1 B は、会話中心の講義を行うものとする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。そのために学生の学習進度に応じて、教科書以外に映画やポピュラー音楽、民謡の歌詞などを教材に取り入れる。

到達目標

モンゴル語の基礎文法を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	小テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級モンゴル語	塩谷茂樹、E. プレブジャブ	大学書林	
2				
3				

初回授業に持参するもの：教科書、そして愛と好奇心。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

なし。

履修資格

講義名	モンゴル語 B				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403037	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL142, 137FLA102						

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。本講義では、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。

到達目標

(1)モンゴル語で基本的な日常会話ができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト 簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゼロから話せるモンゴル語	温品廉三	三修社	
2				
3				

教科書と情熱

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	モンゴル語 A				担当教員	内田 孝	
講義コード	1403038	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL143, 137FLA215						

授業概要

「モンゴル語I」に引き続き、モンゴル語文法体系についての初級・中級レベルの知識を学習し、モンゴル語での文章読解能力・実用的な筆記能力およびコミュニケーション能力を養成する。
また、言語を通じて伝統的遊牧文化に対する理解を深めると同時に、現代モンゴルに関する幅広い知識を習得することも目指す。
さらに、モンゴル語の特徴、モンゴル語と日本語の類似点や相違点についても考察する機会となるよう目指す。

到達目標

中級レベルにおけるモンゴル語の総合的な文章読解力、筆記力、会話力を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	中級レベルの文法事項を理解し、文章を正確に読解できること。
レポート課題		
上記以外	30	単語テスト、小テスト、復習プレゼンテーション。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

自身で予習・復習を行い、特に初級レベルの基礎単語はしっかり覚えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	モンゴル語四週間	小沢 重男	大学書林	978-4475010207
2	入門モンゴル語	タニ ヒロユキ	私家版電子ファイル	
3				

図書情報センターにもテキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語 で学んだ語彙および文法事項を習得していること。

履修資格

講義名	モンゴル語 B				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403039	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL144, 137FLA216						

授業概要

本講義では、新聞や雑誌、インターネットの文章などを読みながら、文法の定着を目指す。
また、新聞や雑誌を通して、現代モンゴル社会への理解を深めていきたい。
そのほか、インターネットのブログやチャットなどで使われているモンゴル語なども学ぶことで、モンゴル人とインターネットを利用したコミュニケーションをする能力を身につけていく。
実際にモンゴル人ブログに書き込むといったトレーニングにもチャレンジすることも検討している。

到達目標

- (1)受講生は、モンゴル語で辞書を使いながら新聞や雑誌、インターネットのサイトを読む能力が身に付く。
- (2)ネットでモンゴル人とコミュニケーションする能力も身に付く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	モンゴル語の新聞や雑誌を読解できるか。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト。 作文能力をとう。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

与えられたテキストは、わからない単語を辞書で前もって調べておくこと。
予習・復習は忘れずに。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーション A				担当教員	内田 孝	
講義コード	1403051	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	137FLA103						

授業概要

この授業では、モンゴル語による様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、基礎的な語彙と初中級レベルの文法を復習・定着させつつ、日常生活の話題について話したり聞いたりする練習を行なう。

到達目標

初級レベルの総合的な会話力および聴解力を習得すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	初中級レベルの語彙・文法を活用して、的確な自己表現や場面説明が行えること。また、文章を正確に理解できること。
レポート課題		
上記以外	30	小テスト、発表など。

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

自身で予習・復習を行い、特に初級レベルの基礎単語はしっかり覚えていること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく予定である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語、 で学んだ語彙および文法事項を習得していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーション B					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403052	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	137FLA104						

授業概要

モンゴル民族の伝統文字であり、現在の中国領内モンゴル自治区などで使用されている「ウイグル式モンゴル文字」の読み書きができることを目指して基層から教える。

到達目標

ウイグル式モンゴル文字を読み書きできる入門知識を取得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の二の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

フフバートル著、小沢重男監修『モンゴル基礎文法』インタ ブック、1993

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

モンゴル語関連授業を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーション A				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1403053	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA217						

授業概要

モンゴル民族の伝統文字であり、現在の中国領内モンゴル自治区などで使用されている「ウイグル式モンゴル文字」の読み書きができることを目指して基層から教える。

到達目標

ウイグル式モンゴル文字を読み書きできる入門知識を取得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の二の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

フフパートル著、小沢重男監修『モンゴル基礎文法』インタ ブック、1993

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーション B」をはじめ、モンゴル語関連授業を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーション B				担当教員	内田 孝	
講義コード	1403054	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	237FLA218						

授業概要

この授業では、モンゴル語による様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、基礎的な語彙と初中級レベルの文法を復習・定着させつつ、日常生活の話題について話したり聞いたりする練習を行なう。

到達目標

初級レベルの総合的な会話力および聴解力を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	初中級レベルの語彙・文法を活用して、的確な自己表現や場面説明が行えること。また、文章を正確に理解できること。
レポート課題		
上記以外	30	小テスト、発表など。

理解度を確認するため、小テストを行うことがある。
授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

授業で学習した内容をしっかり復習し、既習の語彙・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。
発音練習は繰り返し行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく予定である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

前提学力等

モンゴル語、 で学んだ語彙および文法事項を習得していることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読 A				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1403061	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字で書かれたモンゴルの歴史に関する様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された宿題をこなすこと
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーション B」「モンゴル語コミュニケーション A」「モンゴル語資料講読 B」などモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読 B				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1403062	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字 で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル国と内モンゴルが分離した20世紀におけるウイグル式モンゴル文字の使用状況を把握することを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の一の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーション B」「モンゴルコミュニケーション A」「モンゴル語史料講読 A」などモンゴル語の関連授業を受けていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1403063	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	437FLA331						

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字で書かれたモンゴルの歴史に関する様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された宿題をこなすこと
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーション B」「モンゴル語コミュニケーション A」「モンゴル語資料講読 B」などモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	モンゴル語史料講読				担当教員	Borjigin Burensain	
講義コード	1403064	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	437FLA332						

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字 で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル国と内モンゴルが分離した20世紀におけるウイグル式モンゴル文字の使用状況を把握することを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	課された課題をこなすこと
上記以外	30	三分の一の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「モンゴル語コミュニケーション B」「モンゴルコミュニケーション A」「モンゴル語史料講読 A」などモンゴル語の関連授業を受けていることが望ましい。

履修資格

